

(様式第 10)

鳥大医事第 16-1 号
令和元年 10 月 5 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人鳥取大学
学長 中島 廣

鳥取大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 30 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒680-8550 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101
氏 名	国立大学法人鳥取大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

鳥取大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒683-8504 鳥取県米子市西町36番地1	電話 (0859) 33 - 1111
-------------------------	---------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
①呼吸器内科	②消化器内科
5神経内科	⑥血液内科
⑨感染症内科	⑩アレルギー疾患内科またはアレルギー科
	③循環器内科
	7内分泌内科
	④腎臓内科
	8代謝内科
	⑪リウマチ科
診療実績	
内分泌内科及び代謝内科で提供される医療は内分泌代謝内科にて、神経内科で提供される医療は脳神経内科にて提供している。	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有	・	(無)
外科と組み合わせた診療科名			
1呼吸器外科	②消化器外科	3乳腺外科	4心臓外科
5血管外科	⑥心臓血管外科	7内分泌外科	⑧小児外科
診療実績			
外科で提供される医療は外科系各診療にて、呼吸器外科で提供される医療は胸部外科にて、乳腺外科及び内分泌外科で提供される医療は乳腺内分泌外科にて提供している。			

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
⑭放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	・	(無)
歯科と組み合わせた診療科名			
1小児歯科	2矯正歯科	③口腔外科	(歯科口腔外科)
歯科の診療体制			
本院は歯科医師を有する特定機能病院である。			

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1内分泌代謝内科	2膠原病内科	3胸部外科	4乳腺内分泌外科	5頭頸部外科	
6ペインクリニック外科	7薬物療法内科	8形成外科	9腫瘍内科	10脳神経小児科	
11病理診断科	12神経病理診断科	13リハビリテーション科	14脳神経内科		
15	16	17	18	19	20
					21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精 神	感染症	結 核	療 養	一 般	合 計
40床	2床	6床	0床	649床	697床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	339人	65人	389.7人	看 護 補 助 者	66人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	9人	4人	12.3人	理 学 療 法 士	18人	臨床検査技師	53人
薬 剤 師	52人	0人	52.0人	作 業 療 法 士	9人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	4人	そ の 他	0人
助 産 師	54人	0人	54.0人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	759人	14人	768.7人	臨 床 工 学 士	23人	医療社会事業従事者	12人
准 看 護 師	0人	1人	0.5人	栄 養 士	1人	その他の技術員	8人
歯科衛生士	4人	1人	5.0人	歯 科 技 工 士	3人	事 務 職 員	251人
管理栄養士	10人	0人	10.0人	診療放射線技師	41人	そ の 他 の 職 員	44人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	44人	眼 科 専 門 医	12人
外 科 専 門 医	35人	耳鼻咽喉科専門医	13人
精 神 科 専 門 医	4人	放 射 線 科 専 門 医	16人
小 児 科 専 門 医	36人	脳神経外科専門医	8人
皮 膚 科 専 門 医	10人	整 形 外 科 専 門 医	13人
泌尿器科専門医	7人	麻 酔 科 専 門 医	13人
産婦人科専門医	16人	救 急 科 専 門 医	5人
		合 計	232人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名(原田 省) 任命年月日 平成29年 4月 1日

医療事故防止等対策委員会 委員

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1 日当たり平均入院患者数	568.2人	11.5人	579.7人
1 日当たり平均外来患者数	1,405.0人	80.0人	1485.0人
1 日当たり平均調剤数	入院：878.8剤 外来：111.9剤		
必要医師数			142人
必要歯科医師数			5人
必要薬剤師数			20人
必要（准）看護師数			341人

(注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施 設 名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	621m ²	鉄筋コン クリート	病 床 数	26床	心 電 計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	321m ²	病床数	26床	
	[移動式の場合]	台 数	18台			
医 薬 品 情報管理室	[専用室の場合]	床 積	28m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	453.2 m ²		(主な設備) 生化学自動分析装置、 全自動化学発光酵素免疫測定装置			
細菌検査室	127.5 m ²		(主な設備) 全自動同定感受性検査装置、 血液培養装置、微生物分類同定分析装置			
病理検査室	93.3 m ²		(主な設備) 自動免疫染色装置、自動染色装置、バーチャル ・スライド方式による遠隔病理画像診断システ ム、液状処理細胞診システム			
病理解剖室	88.0 m ²		(主な設備) 病理解剖台			
研 究 室	1,072 m ²		(主な設備) 中央実験台、フリーザー、ドラフトチャンバー 等			
講 義 室	406.0 m ²		室数	2 室	収容定員	366 人
図 書 室	1,777m ²		室数	6 室	蔵 書 数	694,000冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		93.8%	逆紹介率	93.1%
算出根拠	A：紹介患者の数			12,786人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数			16,489人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数			3,830人
	D：初診の患者の数			17,704人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
中岡 明久	独立行政法人 労働者健康安全機構 山陰労災病院 副院長・医療安全管理部長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者として適任であるため。	有・ 無	1
中村 寿夫	中村法律事務所 弁護士		法律に関する識見を有する者として適任であるため。	有・ 無	1
前田 純子	NPO法人 岡山 SP 研究会 代表		医療を受ける者で、かつ医療従事者以外であり、医療安全管理についての知識を有する者として適任であるため。	有・ 無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	(有)・無
委員の選定理由の公表の有無	(有)・無
公表の方法 病院のホームページ及び大学のホームページにて公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	23人
細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	該当なし	取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
1 球脊髄性筋萎縮症	6	56 ベーチェット病	25
2 筋萎縮性側索硬化症	26	57 特発性拡張型心筋症	56
3 脊髄性筋萎縮症	3	58 肥大型心筋症	6
4 原発性側索硬化症	1	59 拘束型心筋症	3
5 進行性核上性麻痺	21	60 再生不良性貧血	8
6 パーキンソン病	147	61 自己免疫性溶血性貧血	1
7 大脳皮質基底核変性症	8	62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8 ハンチントン病	2	63 特発性血小板減少性紫斑病	33
9 神経有棘赤血球症	0	64 血栓性血小板減少性紫斑病	1
10 シャルコー・マリー・トゥース病	2	65 原発性免疫不全症候群	1
11 重症筋無力症	80	66 IgA 腎症	33
12 先天性筋無力症候群	0	67 多発性嚢胞腎	12
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	40	68 黄色靱帯骨化症	15
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	10	69 後縦靱帯骨化症	52
15 封入体筋炎	1	70 広範脊柱管狭窄症	1
16 クロウ・深瀬症候群	0	71 特発性大腿骨頭壊死症	13
17 多系統萎縮症	16	72 下垂体性ADH分泌異常症	11
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	30	73 下垂体性TSH分泌亢進症	1
19 ライズゾム病	3	74 下垂体性PRL分泌亢進症	18
20 副腎白質ジストロフィー	2	75 クッシング病	2
21 ミトコンドリア病	2	76 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22 もやもや病	19	77 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	22
23 プリオン病	0	78 下垂体前葉機能低下症	53
24 亜急性性硬化性全脳炎	0	79 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25 進行性多巣性白質脳症	0	80 甲状腺ホルモン不応症	0
26 HTLV-1関連脊髄症	3	81 先天性副腎皮質酵素欠損症	3
27 特発性基底核石灰化症	0	82 先天性副腎低形成症	1
28 全身性アミロイドーシス	7	83 アジソン病	1
29 ウルリッヒ病	0	84 サルコイドーシス	45
30 遠位型ミオパチー	1	85 特発性間質性肺炎	21
31 ベスレムミオパチー	0	86 肺動脈性肺高血圧症	6
32 自己食空胞性ミオパチー	0	87 肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33 シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88 慢性血栓性肺高血圧症	4
34 神経線維腫症	24	89 リンパ脈管腫症	2
35 天疱瘡	13	90 網膜色素変性症	11
36 表皮水疱症	0	91 バッド・キアリ症候群	3
37 膿疱性乾癬(汎発型)	5	92 特発性門脈圧亢進症	0
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93 原発性胆汁性肝硬変	39
39 中毒性表皮壊死症	1	94 原発性硬化性胆管炎	1
40 高安動脈炎	20	95 自己免疫性肝炎	21
41 巨細胞性動脈炎	2	96 クローン病	38
42 結節性多発動脈炎	10	97 潰瘍性大腸炎	86
43 顕微鏡的多発血管炎	27	98 好酸球性消化管疾患	1
44 多発血管炎性肉芽腫症	6	99 慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	12	100 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46 悪性関節リウマチ	4	101 腸管神経節細胞減少症	0
47 バージャー病	4	102 ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	1	103 GFC症候群	0
49 全身性エリテマトーデス	144	104 コステロ症候群	0
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	59	105 チャージ症候群	0
51 全身性強皮症	66	106 クリオピリン関連周期熱症候群	0
52 混合性結合組織病	25	107 全身型若年性特発性関節炎	7
53 シェーグレン症候群	27	108 TNF受容体関連周期性症候群	0
54 成人スチル病	13	109 非典型溶血性尿毒症症候群	0
55 再発性多発軟骨炎	0	110 ブラウ症候群	0

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
111 先天性ミオパチー	0	161 家族性良性慢性天疱瘡	0
112 マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	10
113 筋ジストロフィー	9	163 特発性後天性全身性無汗症	0
114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164 眼皮膚白皮症	0
115 遺伝性周期性四肢麻痺	0	165 肥厚性皮膚骨膜炎	0
116 アトピー性脊髄炎	1	166 弾性線維性仮性黄色腫	0
117 脊髄空洞症	0	167 マルフアン症候群	8
118 脊髄髄膜瘤	0	168 エーラス・ダンロス症候群	0
119 アイザックス症候群	1	169 メンケス病	0
120 遺伝性ジストニア	1	170 オクシタル・ホーン症候群	0
121 神経フェリチン症	0	171 ウィルソン病	1
122 脳表ヘモジデリン沈着症	0	172 低ホスファターゼ症	0
123 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性 白質脳症	0	173 VATER症候群	0
124 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優 性脳動脈症	1	174 那須・ハコラ病	0
125 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性び まん性白質脳症	0	175 ウィーバー症候群	0
126 ベリー症候群	0	176 コフィン・ローリー症候群	0
127 前頭側頭葉変性症	1	177 有馬症候群	0
128 ビッカーstaff脳幹脳炎	0	178 モワット・ウィルソン症候群	0
129 痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179 ウィリアムズ症候群	0
130 先天性無痛無汗症	0	180 ATR-X症候群	0
131 アレキサンダー病	0	181 クルーゾン症候群	0
132 先天性核上性球麻痺	0	182 アペール症候群	0
133 メビウス症候群	0	183 ファイファー症候群	0
134 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184 アントレー・ビクスラー症候群	0
135 アイカルディ症候群	0	185 コフィン・シリス症候群	0
136 片側巨脳症	0	186 ロスモンド・トムソン症候群	0
137 限局性皮質異形成	0	187 歌舞伎症候群	0
138 神経細胞移動異常症	0	188 多脾症候群	0
139 先天性大脳白質形成不全症	0	189 無脾症候群	0
140 ドラベ症候群	0	190 鰓耳腎症候群	0
141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191 ウェルナー症候群	0
142 ミオクロニー欠神てんかん	0	192 コケイン症候群	0
143 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193 ブラダー・ウィリ症候群	2
144 レノックス・ガストー症候群	0	194 ソース症候群	0
145 ウエスト症候群	0	195 ヌーナン症候群	1
146 大田原症候群	0	196 ヤング・シンプソン症候群	0
147 早期ミオクロニー脳症	0	197 1p36欠失症候群	0
148 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198 4p欠失症候群	0
149 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199 5p欠失症候群	0
150 環状20番染色体症候群	0	200 第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151 ラスムッセン脳炎	0	201 アンジェルマン症候群	0
152 PCDH19関連症候群	0	202 スミス・マギニス症候群	0
153 難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	203 22q11.2欠失症候群	0
154 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん 性脳症	0	204 エマヌエル症候群	0
155 ランドウ・クレフナー症候群	0	205 脆弱X症候群関連疾患	0
156 レット症候群	0	206 脆弱X症候群	0
157 スタージ・ウェーバー症候群	0	207 総動脈幹遺残症	0
158 結節性硬化症	3	208 修正大血管転位症	0
159 色素性乾皮症	0	209 完全大血管転位症	0
160 先天性魚鱗癬	0	210 単心室症	1

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
211 左心低形成症候群	0	259 レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212 三尖弁閉鎖症	0	260 シトステロール血症	0
213 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261 タンジール病	0
214 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262 原発性高カイロミクロン血症	0
215 ファロー四徴症	2	263 脳腫黄色腫症	0
216 両大血管右室起始症	2	264 無βリポタンパク血症	0
217 エプスタイン病	1	265 脂肪萎縮症	0
218 アルポート症候群	0	266 家族性地中海熱	0
219 ギャロウェイ・モワト症候群	0	267 高IgD症候群	0
220 急速進行性糸球体腎炎	3	268 中條・西村症候群	0
221 抗糸球体基底膜腎炎	1	269 化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222 一次性ネフローゼ症候群	18	270 慢性再発性多発性骨髄炎	0
223 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271 強直性脊椎炎	8
224 紫斑病性腎炎	2	272 進行性骨化性線維異形成症	0
225 先天性腎性尿崩症	0	273 肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226 間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274 骨形成不全症	0
227 オスラー病	2	275 タナトフォリック骨異形成症	0
228 閉塞性細気管支炎	0	276 軟骨無形成症	0
229 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277 リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230 肺胞低換気症候群	0	278 巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231 α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279 巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232 カーニー複合	0	280 巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233 ウォルフラム症候群	0	281 クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
234 ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282 先天性赤血球形成異常性貧血	0
235 副甲状腺機能低下症	0	283 後天性赤芽球病	0
236 偽性副甲状腺機能低下症	1	284 ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237 副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285 ファンconi貧血	0
238 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1	286 遺伝性鉄芽球性貧血	0
239 ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287 エプスタイン症候群	0
240 フェニルケトン尿症	1	288 自己免疫性出血病XIII	0
241 高チロシン血症1型	0	289 クロンカイト・カナダ症候群	0
242 高チロシン血症2型	0	290 非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243 高チロシン血症3型	0	291 ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸	0
244 メーブルシロップ尿症	0	292 総排泄腔外反症	0
245 プロピオン酸血症	0	293 総排泄腔遺残	0
246 メチルマロン酸血症	0	294 先天性横隔膜ヘルニア	0
247 イソ吉草酸血症	0	295 乳幼児肝巨大血管腫	0
248 グルコーストランスポーター1欠損症	0	296 胆道閉鎖症	1
249 グルタル酸血症1型	0	297 アラジール症候群	0
250 グルタル酸血症2型	0	298 遺伝性膀胱炎	0
251 尿素サイクル異常症	0	299 嚢胞性線維症	0
252 リジン尿性蛋白不耐症	0	300 IgG4関連疾患	5
253 先天性葉酸吸収不全	0	301 黄斑ジストロフィー	0
254 ポルフィリン症	0	302 レーベル遺伝性視神経症	0
255 複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303 アッシュヤー症候群	0
256 筋型糖原病	0	304 若年発症型両側性感音難聴	0
257 肝型糖原病	0	305 遅発性内リンパ水腫	0
258 ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306 好酸球性副鼻腔炎	16

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクロームステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	1	330	先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・後発医薬品使用体制加算1
・歯科外来診療環境体制加算2	・総合評価加算
・歯科診療特別対応連携加算	・呼吸ケアチーム加算
・特定機能病院入院基本料(一般・結核7対1、精神13対1)	・病棟薬剤業務実施加算1、2
・臨床研修病院入院診療加算(医科:基幹型、歯科:単独型又は管理型)	・データ提出加算2
・救急医療管理加算	・入退院支援加算1、3
・超急性期脳卒中加算	・認知症ケア加算2
・妊産婦緊急搬送入院加算	・精神疾患診療体制加算
・診療録管理体制加算1	・精神科急性期医師配置加算
・医師事務作業補助体制加算1(50対1)	・地域歯科診療支援病院入院加算
・急性期看護補助体制加算(50対1)	・救命救急入院料3、4
・看護職員夜間配置加算1(12対1)	・特定集中治療室管理料1、3
・看護補助加算2	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・療養環境加算	・総合周産期特定集中治療室管理料1、2
・重症者等療養環境特別加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・無菌治療室管理加算1、2	・小児入院医療管理料1
・緩和ケア診療加算	・
・精神病棟入院時医学管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	骨髄微小残存病変量測定
糖尿病合併症管理料	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
がん性疼痛緩和指導管理料	検体検査管理加算(Ⅰ)
がん患者指導管理料イ	検体検査管理加算(Ⅳ)
がん患者指導管理料ロ	国際標準検査管理加算
がん患者指導管理料ハ	遺伝カウンセリング加算
外来緩和ケア管理料	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
糖尿病透析予防指導管理料	胎児心エコー法
乳腺炎重症化予防・ケア指導料	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
院内トリアージ実施料	ヘッドアップティルト試験
外来放射線照射診療料	人工膀胱検査、人工膀胱療法
ニコチン依存症管理料	長期継続頭蓋内脳波検査
がん治療連携計画策定料	脳波検査判断料1
排尿自立指導料	光トポグラフィー
肝炎インターフェロン治療計画料	神経学的検査
薬剤管理指導料	補聴器適合検査
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	ロービジョン検査判断料
医療機器安全管理料1	コンタクトレンズ検査料1
医療機器安全管理料2	小児食物アレルギー負荷検査
医療機器安全管理料(歯科)	内服・点滴誘発試験
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料	画像診断管理加算1
在宅酸素療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算	画像診断管理加算2
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算	ポジトロン断層撮影
在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	CT撮影及びMRI撮影
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	冠動脈CT撮影加算
遺伝学的検査	外傷全身CT加算

施設基準の種類	施設基準の種類
心臓MRI撮影加算	腫瘍脊椎骨全摘術
乳房MRI撮影加算	脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
小児鎮静下MRI撮影加算	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は带状角膜変性に係るものに限る。))
外来化学療法加算1	羊膜移植術
無菌製剤処理料	緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	人工中耳植込術
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
がん患者リハビリテーション料	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
歯科口腔リハビリテーション料2	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
精神科作業療法	内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術
抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
医療保護入院等診療料	乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
硬膜外自家血注入	乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
エタノールの局所注入(甲状腺)	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
エタノールの局所注入(副甲状腺)	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
導入期加算2及び腎代替療法実績加算	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
磁気による膀胱等刺激法	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
CAD/CAM冠	食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、脛腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算1及び2	内視鏡下筋層切開術
センチネルリンパ節加算	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	胸腔鏡下弁形成術
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	経カテーテル大動脈弁置換術

施 設 基 準 の 種 類	施 設 基 準 の 種 類
後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)	胸腔鏡下弁置換術
経皮的僧帽弁クリップ術	膀胱水圧拡張術
経皮的中隔心筋焼灼術	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	人工尿道括約筋植込・置換術
植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
補助人工心臓	胎児胸腔・羊水腔シャント術
植込型補助人工心臓(非拍動流型)	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	輸血管理料Ⅰ
腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	輸血適正使用加算
腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	歯周組織再生誘導手術
胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
体外衝撃波胆石破碎術	麻酔管理料(Ⅰ)
腹腔鏡下肝切除術	麻酔管理料(Ⅱ)
体外衝撃波膀胱石破碎術	放射線治療専任加算
腹腔鏡下膀胱体尾部腫瘍切除術	外来放射線治療加算
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	高エネルギー放射線治療
腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	1回線量増加加算

[illegible]

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・骨髓微小残存病変量測定	・
・前眼部三次元画像解析	・
・遺伝学的検査(包括的なゲノムプロファイル検査)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	年15～20回程度
剖 検 の 状 況	剖検症例数 23例 / 剖検率 4.2%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
大気環境観測衛星データに基づく大陸からの越境大気汚染による児童健康リスクの評価	渡部仁成	第三内科	600,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝インスリン分解の影響を受けにくい新規インスリン抵抗性指標の開発	大倉毅	第一内科	1,000,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗癌剤起因性末梢神経障害に対するグレリンを用いた新規治療法の開発	小谷昌広	第三内科	1,000,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
パーキンソン症候群の病態におけるchromogranin Bに関する研究	瀧川洋史	神経内科	900,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
心不全患者における教育効果とegoの関連の検討:効率的患者教育実施に向けて	山本一博	第一内科	800,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
左室拡張不全の新たな治療法の開発 - キサンチンオキシダーゼ阻害の可能性 -	荻野和秀	検査部	1,200,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
複数栄養因子の髄腔内反復バサルタイル投与による筋萎縮性側索硬化症モデル動物治療	渡辺保裕	神経内科	1,000,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
インスリン様成長因子とその結合蛋白の異常に起因する成長ホルモン不応症の解明	神崎晋	小児科	1,100,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
非造影MRIを用いた新たな血管形成術後治療効果判定法の開発	柿手卓	放射線科	500,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
Maspin が乳癌患者の不良予後に関与する分子機構の解明	梅北善久	病理診療科	900,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
消化器癌における制御性B細胞の解析とその制御による新たな癌免疫治療の開発	齋藤博昭	第一外科	1,300,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
核酸医薬とステントグラフトのハイブリッド治療による大動脈瘤進展抑制効果の検討	白谷卓	心臓血管外科	100,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
椎間関節性腰痛における関節液の生化学的解析と関節軟骨の変性過程の解析	永島英樹	整形外科	800,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
健康寿命延伸のための骨・筋減少防止に関する研究	荻野浩	リハビリテーション部	900,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
膜融合性リポソームを用いた新規受容体SNSRアゴニスト膀胱内注入療法の確立	本田正史	泌尿器科	1,100,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経損傷による外尿道括約筋の疲労が尿禁制に及ぼす影響の解明と治療基盤の確立	村岡邦康	泌尿器科	1,000,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
セラミドによる頭頸部癌の発生抑制と治療への新展開	藤原和典	耳鼻科	800,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
サイトメガロウイルス前眼部感染症マネージメントの標準化と戦略的病態解明	官崎大	眼科	1,200,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
多血小板血漿と脂肪由来幹細胞を利用した新しい乳房再建法確立の試み	八木俊路朗	形成外科	1,200,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
学校看護師の医療的ケアに関する研修プログラムの開発と評価に関する研究	玉崎章子	小児在宅支援センター	400,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
心不全患者における味覚異常の特徴と予後への影響	衣笠良治	第一内科	800,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
HFpEF患者の予後予測における低容量運動負荷心エコー図検査の有用性の検討	春木伸彦	第一内科	500,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
根治的内視鏡治療可能な早期食道癌の死因に関するがん登録を利用したコホート研究	河口剛一郎	第二内科	700,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
LCTFを活かした消化器癌新規イメージング法の開発	磯本一	第二内科	900,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
ヒトPS細胞由来ベースメーカ前駆細胞を用いた生物学的ベースメーカの開発	久留一郎	第一内科	700,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
パーキンソン病および類縁疾患におけるすくみ現象の解明	和田健二	神経内科	500,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経疾患の神経可塑性変化を用いた薬物治療効果の評価:新しい症状の把握法の開発	花島律子	神経内科	1,000,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
新たな成長障害—GH-IGFシグナル蛋白遺伝子異常症の病態解明	靱嶋有紀	小児科	1,300,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
NLRP3の活性化抑制をターゲットとした精神疾患の新規治療薬の開発	岩田正明	精神科	1,400,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
統合失調症の臨床評価における光トポグラフィの実用化	朴盛弘	精神科	1,600,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
金属アーチファクト抑制可能な単エネルギーX線CTによる放射線治療計画の検討	内田伸恵	放射線科	900,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
胃癌腹膜転移メカニズムの解明:新たな診断治療法開発を目指して	藤原義之	第一外科	900,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
CO2ガスによる気胸法を用いた肺癌に対するロボット支援手術の安全性と有用性の検討	中村廣繁	胸部外科	1,300,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
脱分化脂肪細胞 (DFAT) を用いた細胞シートによる排尿筋低活動治療の確立	武中篤	泌尿器科	1,100,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
感染性角膜炎における抗炎症治療へ向けての分子解析	井上幸次	眼科	900,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
脂肪幹細胞の作用メカニズムの解明と新たな乳房再建法の試み	陶山淑子	形成外科	1,200,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
加齢黄斑変性の新規病因遺伝子探索をもとにした戦略的治療開発	馬場高志	眼科	500,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
非アルコール性脂肪肝炎進展に関与するERストレスの同定と新規治療法の開発	的野智光	第二内科	700,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
急性冠症候群患者への教育介入と長期予後の関係にエゴが及ぼす影響	柳原清孝	高次集中治療部	1,400,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
サイトカインストームが主な病態とされる急性脳症の病態解明の試み	蔵田洋文	脳神経小児科	1,200,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
hTERT発現制御における新規の治療標的の解明と臨床応用	網崎正孝	第一外科	1,400,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
中枢性アンジオテンシンIIを介する排尿反射亢進の機序解明	川本文弥	泌尿器科	800,000	⑥ 日本学術振興会 科学研究費助成事業
小計				42件 39,500,000円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
Elucidating the mechanism of mitochondria participation in the development of diabetic cystopathy. Is there a role of sirtuin 1 gene?	ツナビパナイオタ	泌尿器科	1,300,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
開放隅角緑内障における新規病態マーカーの戦略的探索	川本由紀美	眼科	1,200,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺扁平上皮癌に対するmTORとFAKを標的とした治療戦略	山口耕介	第三内科	2,100,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
高等教育機関におけるてんかんのある学生への医療・教育・生活の包括的支援体制の整備	吉岡伸一	精神科	700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
DNA損傷修復能による小細胞肺癌に対する個別化医療の確立	牧野晴彦	第三内科	1,000,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
予後不良の甲状腺癌を識別する血清中癌特異的的自己抗体検出法の開発	伊澤正一郎	第一内科	1,300,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
統合失調症の意欲・発動性の低下に関する脳機能画像を用いた研究	兼子幸一	精神科	1,200,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
新たな動脈コイル塞栓法の開発:側孔付きカテーテル併用バルーン制御下圧縮留置法	大内泰文	放射線科	500,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
自然リンパ球とTLRに着目したアトピー性皮膚炎におけるバリア機能異常の制御	杉田和成	皮膚科	1,000,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症心不全に対する脂肪細胞由来再生細胞シートを用いた心筋再生療法の開発	西村元延	心臓血管外科	1,200,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
生物発光モデルマウスを用いた子宮内膜症治療標的分子の探索	谷口文紀	女性診療科	1,900,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
新たな選択的Estrogen受容体調節薬を用いた子宮内膜症治療の開発	原田省	女性診療科	1,600,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
グローバルとローカルを統合する新規薬剤耐性(AMR)サーベイランスシステムの構築	千鶴浩樹	感染症内科	1,400,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
ウイルス性肝細胞癌の早期診断の徹底と非B非C型肝炎細胞癌のサーベイランスへの挑戦	岡野淳一	第二内科	700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
Positional therapyは心不全患者のQOLを改善できるか	加藤雅彦	第一内科	1,000,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
手術用マスタースレイブ型ロボットにおける精密な力覚伝達システムの開発	森實修一	泌尿器科	1,300,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
FABP4のインスリン抵抗性・分泌能への臨床的検討および直接作用の検討	藤岡洋平	第一内科	1,100,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
ヒトIPS細胞の肝細胞分化指向性に関わる糖鎖修飾の解明	福岡健志	小児科	1,100,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
樹状細胞を起点とした脂漏性皮膚炎発症機序の解明	伊藤直矢子	皮膚科	1,000,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺癌由来エキソソームによるTAMを介した腫瘍進展機構の解明	森本昌樹	第一外科	1,700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
進行性腎癌における至適逐次薬物療法マーカーとなるmicroRNAの同定	岩本秀人	泌尿器科	1,100,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
PHD阻害剤を用いたがん微小環境の改善による頭頸部癌新規治療戦略の開発	小山哲史	耳鼻科	1,200,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
声帯麻痺に対する高濃度脂肪由来再生細胞含有自家脂肪注入	森崎剛史	耳鼻科	1,600,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費助成事業
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	山本一博	第一内科	300,000	補 委 国立研究開発法人国立国際医療研究センター 受託研究費
クッシング症候群術後の至適補充療法の確立	伊澤 正一郎	第一内科	100,000	補 委 国立研究開発法人国立国際医療研究センター 受託研究費
高齢者化学療法未施行IIIb/IV期扁平上皮肺癌に対するnab-Paclitaxel + Carboplatin併用療法とDocetaxel単剤療法のランダム化第III相試験	武田 賢一	第三内科	216,000	補 委 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 受託研究費
既存の診療情報と一体的に運用可能な症例登録システムの構築とアウトカム指標等の分析・利活用に関する研究 (②標準化形式による疾患・症例登録の入力支援に活用できる既存診療情報の自動集約に関する研究)	近藤 博史	医療情報部	130,000	補 委 日本医療研究開発機構 受託研究費
小児期のウイルス性肝炎の病態解明と治療の標準化に関する研究(小児C型慢性肝炎に対するDAA治療に関する研究)	村上 潤	小児科	370,000	補 委 日本医療研究開発機構 受託研究費
未診断疾患イニシアチブ(Initiative on Rare and Undiagnosed Disease(IRUD)):希少未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究(中国地区における未診断疾患に対する診断体制の構築に関する研究)	前垣 義弘	遺伝子診療科	5,200,000	補 委 日本医療研究開発機構 受託研究費
進行性家族性肝内胆汁うっ滞症2型に対する世界初・日本発の内科的治療法の確立に向けたブフェニールの医薬品開発研究(PFIC2に対するブフェニールの長期安全性・有効性評価を目的とした医師主導治験)	村上 潤	小児科	65,000	補 委 日本医療研究開発機構 受託研究費
最新の高感度変異解析技術を用いた「胃カメラしながら膵がん検診」の開発(洗浄十二指腸液回収法の標準化)	松本 和也	第二内科	4,550,000	補 委 日本医療研究開発機構 受託研究費
超高感度尿中微量蛋白質解析技術を用いた肺癌と膵臓癌の新規早期診断マーカー開発研究 (③肺癌癌、肺扁平上皮癌、肺小細胞癌の早期診断マーカー、治療効果や予後を予測するマーカーの探索①)	阪本 智宏	化学療法センター	800,000	補 委 日本医療研究開発機構 受託研究費
独創的な尿中蛋白質断片解析法により同定した高感度の早期肺癌・膵臓癌診断マーカーの検診への導入を目指した多施設検証と企業化の実現(肺癌試料と臨床情報の収集、臨床試験の施行)	阪本 智宏	化学療法センター	1,300,000	補 委 日本医療研究開発機構 受託研究費
小児神経疾患・先天代謝異常症に対する遺伝子治療法開発(AAVベクターによるライソゾーム病、Niemann-Pick病に対する遺伝子治療法開発)	成田 綾	脳神経小児科	2,860,000	補 委 日本医療研究開発機構 受託研究費
次世代シーケンサーによる網羅的がん関連遺伝子パネル解析を用いたHER2遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌に対する治療開発を目指した研究(医師主導治験の実施)	阪本 智宏	呼吸器膠原病内科	3,900,000	補 委 日本医療研究開発機構 受託研究費
鳥取県ドクターカー運営事業費補助金	病院長 原田 省		2,691,000	補 委 鳥取県
鳥取県感染症指定医療機関運営費補助金	病院長 原田 省		2,867,818	補 委 鳥取県
鳥取県感染症医療体制整備支援事業補助金	病院長 原田 省		14,961,000	補 委 鳥取県
鳥取県医師・看護職員の仕事と育児の両立応援事業補助金	病院長 原田 省		155,000	補 委 鳥取県
DAMT養成等研修に係る旅費補助事業	病院長 原田 省		211,000	補 委 鳥取県
小計				40件 68,876,818円

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
防災訓練等参加支援事業補助金	病院長 原田 省		4,537,000	補委 鳥取県
実習指導者養成支援事業	病院長 原田 省		125,000	補委 鳥取県
医療情報ネットワーク整備事業(H30保守)	病院長 原田 省		17,824,000	補委 鳥取県
周産期医療に関わる専門的スタッフの養成事業	病院長 原田 省		3,769,000	補委 鳥取県
看護師の特定行為研修受講補助事業(1回目)	病院長 原田 省		14,790,000	補委 鳥取県
看護師の特定行為研修受講補助事業(2回目)	病院長 原田 省		750,000	補委 鳥取県
新人看護職員研修事業	病院長 原田 省		743,000	補委 鳥取県
産科医等確保支援事業	病院長 原田 省		1,128,000	補委 鳥取県
新生児医療担当医確保支援事業	病院長 原田 省		313,000	補委 鳥取県
救急勤務医支援事業	病院長 原田 省		939,000	補委 鳥取県
病院内保育所運営事業	病院長 原田 省		7,774,000	補委 鳥取県
在宅医療推進のための看護師育成支援事業 (T-Home Oriented Care:HOC)	病院長 原田 省		25,000,000	補委 鳥取県
地域医療連携研修会開催支援事業	病院長 原田 省		2,371,000	補委 鳥取県
鳥取県原子力発電施設等緊急時安全対策費補助金	病院長 原田 省		5,631,552	補委 鳥取県
鳥取県がん専門医療従事者育成支援負担金	病院長 原田 省		153,000	補委 鳥取県
鳥取県がん専門医資格取得支援事業	病院長 原田 省		407,000	補委 鳥取県
鳥取県院内がん登録支援事業補助金	病院長 原田 省		448,000	補委 鳥取県
がん診療連携拠点病院機能強化事業	病院長 原田 省		17,738,000	補委 厚生労働省

小計	18件 104,440,552円
合計	100件 212,817,370円

(注 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種 別
1	Kuya, K; Shinohara, Y; Yoshioka, H et al.	画像診断治療学	A Case of Intracranial Subependymoma: Histopathological Confirmation of Ring-shaped Lateral Ventricular Nodule.	Magnetic resonance in medical sciences : MRMS : an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine, 17(2)pp.105- 106, 2018	Case Reports
2	Kimura, R; Yoshida, Y; Sugita, K et al.	皮膚病態学	Cutaneous squamous cell carcinoma with multiple metastases in a patient with chronic gluteal pyoderma.	The Australasian journal of dermatology, 59(2)pp.e148-e149, 2018	Case Reports Letter
3	Kuya, K; Ogawa, T; Shinohara, Y et al.	画像診断治療学	Evaluation of Parkinson's disease by neuromelanin-sensitive magnetic resonance imaging and 123I-FP-CIT SPECT.	Acta radiologica (Stockholm, Sweden : 1987), 59(5)pp.593-598, 2018	Original Article
4	Sugihara, T; Koda, M; Okamoto, T et al.	機能病態内科 学	Two patterns of contrast-enhanced ultrasonography with Sonazoid® in spontaneous rupture of hepatocellular carcinoma: a report of four cases.	Journal of medical ultrasonics (2001), 45(2)pp.319-323, 2018	Case Reports
5	Sugihara, T; Koda, M; Okamoto, T et al.	機能病態内科 学	Two patterns of contrast-enhanced ultrasonography with Sonazoid in spontaneous rupture of hepatocellular carcinoma: a report of four cases	Journal of Medical Ultrasonics 45(2) Page319-323, 2018	Original Article
6	Tani, N; Sugita, K; Yamamoto, O	皮膚病態学	Paclitaxel-related scleredema-like skin changes in a patient with breast cancer.	The Australasian journal of dermatology, 59(3)pp.e215-e217, 2018	Case Reports
7	Takata, M; Yamasaki, A; Yamada, N et al.	分子制御内科 学	A case of clinically amyopathic dermatomyositis that developed during anti-TNF- α therapy for rheumatoid arthritis.	Allergology.international : official journal of the Japanese Society of Allergology, 67(2)pp.286-288, 2018	Letter
8	Murakami, Y; Saito, H; Kono et al.	病態制御外科 学	Combined analysis of the preoperative and postoperative prognostic nutritional index offers a precise predictor of the prognosis of patients with gastric cancer.	Surgery today, 48(4)pp.395-403, 2018	Original Article
9	Kishimoto, J; Ohta, Y; Kitao, S et al.	画像診断治療学	Image quality improvements using adaptive statistical iterative reconstruction for evaluating chronic myocardial infarction using iodine density images with spectral CT.	The international journal of cardiovascular imaging, 34(4)pp.633- 639, 2018	Original Article
10	Ito, A; Yoshida, Y; Adachi, K et al.	皮膚病態学	Non-lesional skin biopsy for a diagnosis of neuronal intranuclear inclusion disease.	The Journal of dermatology, 45(4)pp.e67, 2018	Letter
11	Fukuhara, T	耳鼻咽喉・頭 頸部外科学	Suitable Ultrasonographic Approach to Assessing Vocal Cord Movement: Reply.	World journal of surgery, 42(4)pp.1215, 2018	Letter, Comment
12	Morizane, S; Honda, M; Fukasawa, S et al.	腎泌尿器学	Comparison of the diagnostic efficacy and perioperative outcomes of limited versus extended pelvic lymphadenectomy during robot-assisted radical prostatectomy: a multi-institutional retrospective study in Japan.	International journal of clinical oncology, 23(3)pp.568-575, 2018	Original Article
13	Morizane, S; Honda, M; Fukasawa, S et al.	腎泌尿器学	Comparison of the diagnostic efficacy and perioperative outcomes of limited versus extended pelvic lymphadenectomy during robot-assisted radical prostatectomy: a multi-institutional retrospective study in Japan	International Journal of Clinical Oncology 23(3) Page568-575, 2018	Original Article
14	Osaki, T; Saito, H; Fukumoto, Y et al.	病態制御外科 学	Risk and incidence of perioperative deep vein thrombosis in patients undergoing gastric cancer surgery.	Surgery today, 48(5)pp.525-533, 2018	Original Article
15	Shinohara, Y; Kato, A; Yamashita, E et al.	画像診断治療学	Detection of Cerebral Venous Sinus Thrombosis on a R2* Map.	Magnetic resonance in medical sciences : MRMS : an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine, 17(4)pp.273- 274, 2018	Original Article
16	Saito, H; Kono, Y; Murakami, Y et al.	病態制御外科 学	Prognostic Significance of the Preoperative Ratio of C-Reactive Protein to Albumin and Neutrophil- Lymphocyte Ratio in Gastric Cancer Patients.	World journal of surgery, 42(6)pp.1819-1825, 2018	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種 別
17	Omae, T; Saito, Y; Tsuchie, H et al.	脳神経小児科 学	Cytokine/chemokine elevation during the transition phase from HSV encephalitis to autoimmune anti-NMDA receptor encephalitis.	Brain & development, 40(4)pp.361- 365, 2018	Original Article
18	Omae, T; Saito, Y; Tsuchie, H et al.	脳神経小児科 学	Cytokine/chemokine elevation during the transition phase from HSV encephalitis to autoimmune anti-NMDA receptor encephalitis	Brain & Development 40(4) Page361-365, 2018	Original Article
19	Miyagi, M; Kinugasa, Y; Sota, T et al.	病態情報内科学	Diaphragm Muscle Dysfunction in Patients With Heart Failure.	Journal of cardiac failure, 24(4)pp.209-216, 2018	Original Article
20	Tani, N; Sugita, K; Yamada, N et al.	皮膚病態学	Reduced IgG anti-desmocollin autoantibody titre and concomitant improvement in a patient with pemphigus vegetans.	European journal of dermatology : EJD, 28(2)pp.232-233, 2018	Case Reports
21	Wakumoto, K; Goto, H; Sugita, K et al.	皮膚病態学	Lichen sclerosis on the face.	The Australasian journal of dermatology, 59(4)pp.330-332, 2018	Case Reports
22	Iyama, T; Takata, T; Koda, M et al.	機能病態内科 学	Renal shear wave elastography for the assessment of nephron hypertrophy: a cross-sectional study in chronic kidney disease.	Journal of medical ultrasonics (2001), 45(4)pp.571-576, 2018	Review Original Article
23	Saito, H; Kono, Y; Murakami, Y et al.	病態制御外科 学	Prognostic Significance of Pre- and Postoperative Lymphocyte Counts in Patients with Gastric Cancer.	Digestive surgery, 36(2)pp.137-143, 2019	Original Article
24	Kurumi, H; Kanda, T; Kawaguchi, K et al.	機能病態内科 学	Protoporphyrinogen oxidase is involved in the fluorescence intensity of 5- aminolevulinic acid-mediated laser- based photodynamic endoscopic diagnosis for early gastric cancer.	Photodiagnosis and photodynamic therapy, 22()pp.79-85, 2018	Original Article
25	Saito, H; Kono, Y; Murakami, Y et al.	病態制御外科 学	Prognostic Significance of Platelet- Based Inflammatory Indicators in Patients with Gastric Cancer.	World journal of surgery, 42(8)pp.2542-2550, 2018	Original Article
26	Miyoshi, F; Shinohara, Y; Kambe, A et al.	画像診断治療学	Utility of intravoxel incoherent motion magnetic resonance imaging and arterial spin labeling for recurrent glioma after bevacizumab treatment.	Acta radiologica (Stockholm, Sweden : 1987), 59(11)pp.1372-1379, 2018	Original Article
27	Onoyama, T; Matsumoto, K; Koda, H et al.	機能病態内科 学	Diagnostic usefulness of KL-6 concentration of bile in biliary tract cancer.	Molecular and clinical oncology, 8(4)pp.567-570, 2018	Original Article
28	Sugita, K; Yanagihara, S; Yamamoto, O	皮膚病態学	Proliferation of nerve fibres as a novel feature of pacifier polydactyly.	European journal of dermatology : EJD, 28(3)pp.390-391, 2018	Original Article
29	Hayashida, T; Saito, Y; Ishii, A et al.	脳神経小児科 学	Further characterization of CAPOS/CAOS syndrome with the Glu818Lys mutation in the ATP1A3 gene: A case report.	Brain & development, 40(7)pp.576- 581, 2018	Original Article
30	Haruki, N; Onohara, T; Tsujimoto, D et al.	病態情報内科学	Rapid-Growing Right Atrial Myxoma 7 Months After Catheter Ablation Under Anticoagulation Therapy - Serial Echocardiography and Computed Tomography.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society, 82(10)pp.2682-2683, 2018	Original Article
31	Amisaki, M; Saito, H; Tokuyasu, N et al.	病態制御外科 学	Prognostic value of postoperative complication for early recurrence after curative resection of hepatocellular carcinoma.	Hepatobiliary & pancreatic diseases international : HBPD INT, 17(4)pp.323-329, 2018	Original Article
32	Okura, T; Teramoto, K; Koshitani, R et al.	病態情報内科学	A Computer-Based Glucose Management System Reduces the Incidence of Forgotten Glucose Measurements: A Retrospective Observational Study.	Diabetes therapy : research, treatment and education of diabetes and related disorders, 9(3)pp.1143- 1147, 2018	Original Article
33	Yoshida, Y; Ehara, Y; Noma, H et al.	皮膚病態学	Simple method for estimating cutaneous neurofibromas in patients with neurofibromatosis 1.	The Journal of dermatology, 45(5)pp.626-627, 2018	Original Article
34	Tani, N; Sugita, K; Ito, A et al.	皮膚病態学	CD8+ T cell-mediated interface dermatitis during combination chemotherapy with mogamulizumab in a patient with adult T-cell leukaemia/lymphoma.	Clinical and experimental dermatology, 43(6)pp.736-737, 2018	Case Reports Letter
35	Torihashi, K; Chin, M; Yoshida, K et al.	脳神経外科	Primary Intracranial Leiomyosarcoma with Intratumoral Hemorrhage: Case Report and Review of Literature.	World neurosurgery, 116()pp.169-173, 2018	Case Reports Review

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種 別
36	Ueki, M; Uehara, K; Isomoto, H	新規医療研究推 進センター	Development of a novel humanoid-robot simulator for endoscope with pharyngeal reflex and real-life responses.	Digestive endoscopy : official journal of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society, 30(5)pp.684-685, 2018	Other (図説)
37	Sakamoto, T; Honjo, S; Morimoto, M et al.	病態制御外科 学	Successful resection of a slow-growing synchronous pulmonary metastasis from distal cholangiocarcinoma resected 3.5 years after initial surgery: a case report.	Journal of medical case reports, 12(1)pp.136, 2018	Case Reports
38	Muraoka, K; Morizane, S; Hieda, K et al.	腎泌尿器学	Site-dependent differences in the composite fibers of male pelvic plexus branches: an immunohistochemical analysis of donated elderly cadavers.	BMC urology, 18(1)pp.47, 2018	Original Article
39	Okura, T; Nakamura, R; Fujioka, Y et al.	病態情報内科学	CPR-IR is an insulin resistance index that is minimally affected by hepatic insulin clearance-A preliminary research.	PloS one, 13(5)pp. e0197663, 2018	Original Article
40	Shiraya, S; Nakamura, Y; Fujiwara, Y et al.	器官再生外科 学	Pulmonary artery dissection caused by extension of acute type B aortic dissection through the ductus arteriosus.	Journal of cardiac surgery, 33(6)pp.337-338, 2018	Case Reports
41	Yoshida, Y; Ehara, Y; Koga, M et al.	皮膚病態学	Epidemiological Analysis of Major Complications Requiring Medical Intervention in Patients with Neurofibromatosis 1.	Acta dermato- venereologica, 98(8)pp.753-756, 2018	Original Article
42	Fukumoto, Y; Matsunaga, T; Shishido, Y et al.	病態制御外科 学	Successful repair using thymus pedicle flap for tracheoesophageal fistula: a case report.	Surgical case reports, 4(1)pp.49, 2018	Original Article
43	Isomoto, H	機能病態内科学	Differentiated-type predominant mixed- histology-type early gastric cancer is a significant risk factor for endoscopic non-curative resection regardless of tumor size.	Digestive endoscopy : official journal of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society, 30(5)pp.602-604, 2018	Editorial
44	Kimura, R; Sugita, K; Goto, H et al.	皮膚病態学	A small nodule on the auricle.	Clinical and experimental dermatology, 44(2)pp.203-205, 2019	Original Article
45	Tsutsumi, R; Yoshida, Y; Yamamoto, O	皮膚病態学	Systemic contact dermatitis caused by inhalation of epoxy resin in industrial waste vapour.	The Australasian journal of dermatology, 59(4)pp. e304-e305, 2018	Case Reports Letter
46	Takeda, Y; Matsumoto, K; Kurumi, H et al.	機能病態内科学	Efficacy and safety of pancreatic juice cytology by using synthetic secretin in the diagnosis of pancreatic ductal adenocarcinoma.	Digestive endoscopy : official journal of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society, 30(6)pp.771-776, 2018	Original Article
47	Murakami, J	周産期・小児 医学	Clinical practice guidelines for allied disorders of Hirschsprung's disease.	Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society, 60(5)pp.399, 2018	Editorial, Comment
48	Murakami, J	周産期・小児 医学	Clinical practice guidelines for allied disorders of Hirschsprung's disease	Pediatrics International 60(5) Page399, 2018	Comment
49	Kurai, J; Watanabe, M; Sano, H et al.	呼吸器内科	A Muscarinic Antagonist Reduces Airway Inflammation and Bronchoconstriction Induced by Ambient Particulate Matter in a Mouse Model of Asthma.	International journal of environmental research and public health, 15(6)pp., 2018	Original Article (Comparative Study) Letter
50	Okazaki, T; Saito, Y; Hayashida, T et al.	脳神経小児科 学	Bilateral cerebellar cysts and cerebral white matter lesions with cortical dysgenesis: Expanding the phenotype of LAMB1 gene mutations.	Clinical genetics, 94(3-4)pp.391- 392, 2018	
51	Watanabe, Y; Matsuba, T; Nakanishi, M et al.	脳神経内科学	Tetanus toxin fragments and Bcl-2 fusion proteins: cytoprotection and retrograde axonal migration.	BMC biotechnology, 18(1)pp.39, 2018	Original Article
52	Fujiwara, W; Haruki, T; Kidokoro, Y et al.	胸部外科学	Cushing's syndrome caused by ACTH- producing thymic typical carcinoid with local invasion and regional lymph node metastasis: a case report.	Surgical case reports, 4(1)pp.55, 2018	Original Article
53	Sumi, K; Okura, T; Fujioka, Y et al.	病態情報内科学	Coenzyme Q10 suppresses apoptosis of mouse pancreatic β -cell line MIN6.	Diabetology & metabolic syndrome, 10(0)pp.47, 2018	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種 別
54	Kaneko, K	精神行動医学	Negative Symptoms and Cognitive Impairments in Schizophrenia: Two Key Symptoms Negatively Influencing Social Functioning.	Yonago acta medica, 61(2)pp.91-102, 2018	Review
55	Mukuda, N; Fujii, S; Inoue, C et al.	画像診断治療学	Bilateral Ovarian Tumors on MRI: How Should We Differentiate the Lesions?	Yonago acta medica, 61(2)pp.110-116, 2018	Original Article
56	Matsusue, E; Fujihara, Y; Tanaka, K et al.	画像診断治療学	The Utility of the Combined Use of 123I-FP-CIT and 123I-MIBG Myocardial Scintigraphy in Differentiating Parkinson's Disease from Other Parkinsonian Syndromes	YONAGO ACTA MEDICA 61(3) pg:160 - 165, 2018	Original Article
57	Tokuyasu, N; Shomori, K; Amano, K et al.	病態制御外科学	Indirubin, a Constituent of the Chinese Herbal Medicine Qing-Dai, Attenuates Dextran Sulfate Sodium-induced Murine Colitis.	Yonago acta medica, 61(2)pp.128-136, 2018	Original Article
58	Kimura, R; Sugita, K; Yamamoto, O	皮膚病態学	Early Stage of Pilomatricoma with an Empty Cyst Cavity and Unusual Clinical Appearance.	Yonago acta medica, 61(2)pp.137-139, 2018	Original Article
59	Kimura, R; Sugita, K; Goto, H et al.	皮膚病態学	Squamous Cell Carcinoma Manifested as a Cutaneous Horn: A Key to Early Detection.	Yonago acta medica, 61(2)pp.140-141, 2018	Original Article
60	Shiraya, S; Nakamura, Y; Fujiwara, Y et al.	器官再生外科学	Successful Surgical Remodeling of a Giant Venous Aneurysm Formed in an Autogenous Arteriovenous Fistula: A Case Report.	Yonago acta medica, 61(2)pp.142-144, 2018	Original Article
61	Yamamoto, M; Saito, H; Uejima, C et al.	病態制御外科学	Prognostic value of the combination of pre- and postoperative C-reactive protein in colorectal cancer patients.	Surgery today, 48(11)pp.986-993, 2018	Original Article
62	Inata, K; Miyazaki, D; Uotani, R et al.	視覚病態学	Effectiveness of real-time PCR for diagnosis and prognosis of varicella-zoster virus keratitis.	Japanese journal of ophthalmology, 62(4)pp.425-431, 2018	Original Article
63	Kato, M; Yamamoto, K	病態情報内科学	Monitoring Changes in Ejection Fraction in Patients With Heart Failure and Mid-Range Ejection Fraction	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society, 82(8)pp.1991-1993, 2018	Original Article
64	Kato, M; Yamamoto, K	病態情報内科学	Monitoring Changes in Ejection Fraction in Patients With Heart Failure and Mid-Range Ejection Fraction	Circulation Journal 82(8) Page1991-199, 2018	Comment
65	Tsounapi, P; Honda, M; Dimitriadis, F et al.	腎泌尿器学	Effects of a micronutrient supplementation combined with a phosphodiesterase type 5 inhibitor on sperm quantitative and qualitative parameters, percentage of mature spermatozoa and sperm capacity to undergo hyperactivation: A randomised controlled trial.	Andrologia, 50(8)pp. e13071, 2018	Original Article
66	Ohta, Y; Kitao, S; Yunaga, H et al.	画像診断治療学	Myocardial Delayed Enhancement CT for the Evaluation of Heart Failure: Comparison to MRI.	Radiology, 288(3)pp.682-691, 2018	Original Article
67	Yamashita, T; Hagino, H; Hayashi, et al.	視覚病態学	Effect of a cathepsin K inhibitor on arthritis and bone mineral density in ovariectomized rats with collagen-induced arthritis.	Bone reports, 9(0)pp.1-10, 2018	Original Article
68	Khine, YM; Taniguchi, F; Nagira, K et al.	生殖機能医学	New insights into the efficacy of SR-16234, a selective estrogen receptor modulator, on the growth of murine endometriosis-like lesions.	American journal of reproductive immunology (New York, N.Y. : 1989), 80(5)pp. e13023, 2018	Original Article
69	Tsutsumi, R; Yoshida, Y; Adachi, K et al.	皮膚病態学	Acute localized exanthematous pustulosis caused by a herbal medicine, dai-kenchu-to.	Contact dermatitis, 79(4)pp.257-259, 2018	Case Reports
70	Koyama, S; Miyake, N; Fujiwara, K et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	Lenvatinib for Anaplastic Thyroid Cancer and Lenvatinib-Induced Thyroid Dysfunction.	European thyroid journal, 7(3)pp.139-144, 2018	Original Article
71	Kurai, J; Onuma, K; Sano, H et al.	呼吸器内科	Ozone augments interleukin-8 production induced by ambient particulate matter.	Genes and environment : the official journal of the Japanese Environmental Mutagen Society, 40(0)pp.14, 2018	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種 別
72	Okura, T; Nakamura, R; Fujioka, Y et al.	病態情報内科学	Body mass index ≥ 23 is a risk factor for insulin resistance and diabetes in Japanese people: A brief report.	PloS one, 13 (7) pp. e0201052, 2018	Original Article
73	Izumi, H; Yamasaki, A; Takeda, K et al.	分子制御内科学	Acute-phase reaction induced by zoledronate and its effect on prognosis of patients with advanced non-small cell lung cancer.	Lung cancer (Amsterdam, Netherlands), 122 () pp. 200-205, 2018	Original Article
74	Umekita, Y; Ohi, Y; Iwaya, O et al.	器官病理学	Maspin mRNA expression in sentinel lymph nodes predicts non-SLN metastasis in breast cancer patients with SLN metastasis.	Histopathology, 73 (6) pp. 916-922, 2018	Original Article
75	Koyama, S; Fujiwara, K; Nosaka, K et al.	耳鼻咽喉・頭 頸部外科学	Immunohistochemical Features of Primary Pure Squamous Cell Carcinoma in the Thyroid: An Autopsy Case.	Case reports in oncology, 11 (2) pp. 418-424,	Case Reports
76	Morimoto, M; Honjo, S; Sakamoto, T et al.	病態制御外科 学	Pilot Study of Probe-based Confocal Laser Endomicroscopy with Fluorescein-dripping Method for Liver Tumors.	Anticancer research, 38 (8) pp. 4775-4781, 2018	Original Article
77	Amisaki, M; Uchinaka, E; Morimoto, M et al.	病態制御外科 学	Post-operative albumin-bilirubin grade predicts long-term outcomes among Child-Pugh grade A patients with hepatocellular carcinoma after curative resection.	Hepatobiliary & pancreatic diseases international : HBPD INT, 17 (6) pp. 502-509, 2018	Original Article
78	Kinugasa, Y; Miyagi, M; Sota, T et al.	病態情報内科学	Dynapenia and diaphragm muscle dysfunction in patients with heart failure.	European journal of preventive cardiology, 25 (16) pp. 1785-1786, 2018	Original Article
79	Fujiwara, K; Koyama, S; Donishi, R et al.	耳鼻咽喉・頭 頸部外科学	Preoperative predictors of difficult hypopharyngeal exposure by retractor for transoral robotic surgery.	International journal of clinical oncology, 24 (1) pp. 53-59, 2019	Original Article
80	Takahashi, K; Kumata, T; Sugita, K et al.	皮膚病態学	Fibro-osseous pseudotumour of the digit associated with prominent bone formation: time course of the tumour and clinicopathology.	European journal of dermatology : EJD, 28 (3) pp. 386-387, 2018	Original Article
81	Taniguchi, F; Wada-Hiraike, O; Hirata, T et al.	生殖機能医学	A nationwide survey on gynecologic endoscopic surgery in Japan, 2014-2016.	The journal of obstetrics and gynaecology research, 44 (11) pp. 2067-2076, 2018	Original Article
82	Harada, T; Kawasaki, Y; Tsukada, A et al.	分子制御内科 学	Bronchodilator Reversibility Occurring during the Acute Phase of Paragonimiasis westermani Infection.	Internal medicine (Tokyo, Japan), 58 (2) pp. 297-300, 2019	Case Reports
83	Torihashi, K; Kadowaki, M; Sakamoto, M et al.	脳神経外科	High-Flow Bypass with Internal Carotid Artery to Middle Cerebral Artery Bypass Using Radial Artery Graft Through the Supramandibular-Subzygomatic Route for Giant Internal Carotid Aneurysm: Technical Case Report.	World neurosurgery, 120 () pp. 138-142, 2018	Case Reports
84	Miyazaki, D; Shimizu, D; Shimizu, Y et al.	視覚病態学	Diagnostic efficacy of real-time PCR for ocular cytomegalovirus infections.	Graefe's archive for clinical and experimental ophthalmology = Albrecht von Graefes Archiv fur klinische und experimentelle Ophthalmologie, 256 (12) pp. 2413-2420, 2018	Original Article
85	Murakami, J	周産期・小児 医学	Can treatment of malabsorption in Shwachman-Diamond syndrome improve prognosis?	Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society, 60 (8) pp. 683, 2018	Other
86	Yagi, S; Suyama, Y; Yamaga, K et al.	形成外科	Use of Fat Grafts for Stabilizing Microvascular Pedicle Geometry in Lower Limb Reconstruction.	Plastic and reconstructive surgery. Global open, 6 (7) pp. e1799, 2018	Original Article
87	Nonaka, M; Sato, S; Osaku, D et al.	生殖機能医学	Recurrent colon perforation after discontinuation of bevacizumab for ovarian cancer.	Gynecologic oncology reports, 26 () pp. 21-23, 2018	Case Reports
88	Ikeda, A; Goto, H; Sugita, K et al.	皮膚病態学	Congenital Nodule on the Ear in a Two-year-old Boy: A Quiz.	Acta dermato-venereologica, 98 (10) pp. 993-994, 2018	Case Reports

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種 別
89	Fukuhara, T; Matsuda, E; Donishi, R et al.	耳鼻咽喉・頭 頸部外科学	Clinical efficacy of novel elastography using acoustic radiation force impulse (ARFI) for diagnosis of malignant thyroid nodules.	Laryngoscope investigative otolaryngology, 3(4)pp.319-325, 2018	Original Article
90	Shimizu, D; Miyazaki, D; Shimizu, Y et al.	視覚病態学	Infection of endotheliotropic human cytomegalovirus of trabecular meshwork cells.	Japanese journal of ophthalmology, 62(6)pp.667-676, 2018	Original Article
91	Sakamoto, T; Saito, H; Uchinaka, E et al.	病態制御外科 学	The Combination of Neutrophil-to- lymphocyte Ratio and Serum Carbohydrate Antigen 19-9 Level as a Prognostic Indicator in Patients with Recurrent Pancreatic Cancer.	Anticancer research, 38(9)pp.5497- 5503, 2018	Original Article
92	Hosoya, T; Kambe, A; Nishimura, Y et al.	脳神経外科	Pediatric Case of Li-Fraumeni Syndrome Complicated with Supratentorial Anaplastic Ependymoma.	World neurosurgery, 120()pp.125-128, 2018	Case Reports
93	Yoshida, Y; Goto, H; Tsutsumi, R et al.	皮膚病態学	Use of an Anal Retractor Device for Excision in Patients with Perianal Extramammary Paget's Disease.	Indian journal of dermatology, 63(5)pp.435-437,	Original Article
94	Nagata, K; Hara, S; Nakayama, Y et al.	分子病理学	Epstein-Barr Virus Lytic Reactivation Induces IgG4 Production by Host B Lymphocytes in Graves' Disease Patients and Controls: A Subset of Graves' Disease Is an IgG4-Related Disease-Like Condition.	Viral immunology, 31(8)pp.540-547, 2018	Original Article
95	Kimura, R; Sugita, K; Goto, H et al.	皮膚病態学	Cytophagic Histiocytic Panniculitis Associated with Myelodysplastic Syndrome.	Acta dermato- venereologica, 99(1)pp.97-98, 2019	Original Article
96	Miake, J; Kato, M; Ogura, K et al.	薬理学・薬物療 法学	Pre-ablation levels of brain natriuretic peptide are independently associated with the recurrence of atrial fibrillation after radiofrequency catheter ablation in patients with nonvalvular atrial	Heart and vessels, 34(3)pp.517-526, 2019	Original Article
97	Taniguchi, F; Ota, I; Iba, Y et al.	生殖機能医学	The efficacy and safety of dydrogesterone for treatment of dysmenorrhea: An open-label multicenter clinical study.	The journal of obstetrics and gynaecology research, 45(1)pp.168- 175, 2019	Original Article
98	Nakamura, K; Kinugasa, Y; Sugihara, S et al.	病態情報内科学	Sex differences in surrogate decision- maker preferences for life-sustaining treatments of Japanese patients with heart failure.	ESC heart failure, 5(6)pp.1165-1172, 2018	Original Article
99	Chono, I; Miyazaki, D; Miyake, H et al.	視覚病態学	High interleukin-8 level in aqueous humor is associated with poor prognosis in eyes with open angle glaucoma and neovascular glaucoma.	Scientific reports, 8(1)pp.14533, 2018	Original Article
100	Ogawa, T; Fujii, S; Kuya, K et al.	画像診断治療学	Role of Neuroimaging on Differentiation of Parkinson's Disease and Its Related Diseases.	Yonago acta medica, 61(3)pp.145-155, 2018	Review
101	Hikita, K; Honda, M; Kimura, Y et al.	腎泌尿器学	Evaluation of a Program of Clean Intermittent Catheterization for Underactive Bladder After Radical Hysterectomy.	Yonago acta medica, 61(3)pp.156-159, 2018	Original Article
102	Saito, H; Kono, Y; Murakami, Y et al.	病態制御外科 学	Therapeutic Value of Lymph Node Dissection Along the Superior Mesenteric Vein and the Posterior Surface of the Pancreatic Head in Gastric Cancer Located in the Lower Third of the Stomach.	Yonago acta medica, 61(3)pp.175-181, 2018	Original Article
103	Sakamoto, T; Arai, Y; Morimoto, M et al.	病態制御外科 学	Portal Vein Stenting for Portal Vein Stenosis After Pancreatoduodenectomy: A Case Report.	Yonago acta medica, 61(3)pp.182-186, 2018	Original Article
104	Miyauchi, W; Shishido, Y; Kono, Y et al.	病態制御外科 学	Less Invasive Surgery for Remnant Stomach Cancer After Esophago-proximal Gastrectomy with ICG-guided Blood Flow Evaluation: A Case Report.	Yonago acta medica, 61(3)pp.187-191, 2018	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種 別
105	Mukai- Yatagai, N; Haruki, N; Kinugasa, Y et al.	病態情報内科学	Assessment of myocardial fibrosis using T1-mapping and extracellular volume measurement on cardiac magnetic resonance imaging for the diagnosis of radiation-induced cardiomyopathy.	Journal of cardiology cases, 18(4)pp. 132-135, 2018	Case Reports
106	Sugita, K; Yamamoto, O	皮膚病態学	Hypereosinophilia successfully treated with the novel antihistamine	Clinical and experimental dermatology, ()pp., 2018	Letter
107	Kurai, J;Noma, H; Sano, H et al.	呼吸器内科	Association of short-term ozone exposure with pulmonary function and respiratory symptoms in schoolchildren: A panel study in a western Japanese city	The Journal of Medical Investigation 65(3-4) Page236-241, 2018	Original Article
108	Tani, N; Sugita, K; Ishii, N et al.	皮膚病態学	Juvenile pemphigus vulgaris manifesting as vegetating skin lesions.	Clinical and experimental dermatology, ()pp., 2018	Original Article
109	Kanai, S; Okanishi, T; Fujimoto, A et al.	脳神経小児科学	Successful corpus callosotomy for post-encephalopathic refractory epilepsy in a patient with MECP2 duplication syndrome.	Brain & development, 41 (3)pp. 296-300, 2019	Original Article
110	Pu, S; Nakagome, K; Satake, T et al.	精神行動医学	Comparison of prefrontal hemodynamic responses and cognitive deficits between adult patients with autism spectrum disorder and schizophrenia.	Schizophrenia research, ()pp., 2018	Original Article
111	Kono, Y; Saito, H; Murakami, Y et al.	病態制御外科学	Postoperative ratio of the maximum C-reactive protein level to the minimum peripheral lymphocyte count as a prognostic indicator for gastric cancer patients.	Surgery today, 49(3)pp. 206-213, 2019	Original Article
112	Isomoto, H; Ikebuchi, Y	機能病態内科学	Japanese guidelines for peroral endoscopic myotomy: 1st edition.	Digestive endoscopy : official journal of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society, 31 (1)pp. 27-29, 2019	Editorial
113	Tanio, A; Saito, H; Uejima, C et al.	病態制御外科学	A prognostic index for colorectal cancer based on preoperative absolute lymphocyte, monocyte, and neutrophil counts.	Surgery today, 49(3)pp. 245-253, 2019	Original Article
114	Tsutsumi, R; Yoshida, Y; Suzuki, M et al.	皮膚病態学	Image Gallery: Annular erythema related to Capnocytophaga canimorsus bacteraemia after a dog bite.	The British journal of dermatology, 179(5)pp. e196, 2018	Letter
115	Ohta, Y; Kitao, S; Yunaga, H et al.	画像診断治療学	Quantitative evaluation of non-ischemic dilated cardiomyopathy by late iodine enhancement using rapid kV switching dual-energy computed	Journal of cardiovascular computed tomography, ()pp., 2018	Original Article
116	Fujii, S; Tsuda, M; Mukuda, N et al.	画像診断治療学	MR Imaging of a Leiomyosarcoma Arising in Leiomyoma.	Magnetic resonance in medical sciences : MRMS : an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine, ()pp., 2018	Original Article
117	Ito, A; Sugita, K; Goto, H et al.	皮膚病態学	Unusual dermoscopic feature of a melanocytic naevus on load bearing plantar skin never pressured because of cerebral palsy.	The Australasian journal of dermatology, ()pp., 2018	Letter
118	Tsutsumi, R; Sugita, K; Abe, Y et al.	皮膚病態学	Leukoderma induced by rhododendrol is different from leukoderma of vitiligo in pathogenesis: A novel comparative morphological study.	Journal of cutaneous pathology, 46(2)pp. 123-129, 2019	Original Article
119	Tani, N; Sugita, K; Yanagihara, S et al.	皮膚病態学	Infliximab-induced bullous pemphigoid and anti-desmoglein 3 and anti-BP180 autoantibodies in a patient with ulcerative colitis.	European journal of dermatology : EJD, 29(1)pp. 88-90, 2019	Original Article
120	Hanajima, R; Tanaka, N; Tsutsumi, R et al.	脳神経内科学	Effect of caffeine on long-term potentiation-like effects induced by quadripulse transcranial magnetic stimulation.	Experimental brain research, 237(3)pp. 647-651, 2019	Original Article
121	Higaki-Mori, H; Yoshida, Y; Hisaoka, M et al.	皮膚病態学	Unusual Congenital Multiple Clustered Dermatofibroma: First Reported Case on the Face.	Acta dermatovenereologica, 99(3)pp. 341-342, 2019	Original Article
122	Hoi, S; Takata, T; Sugihara, T et al.	機能病態内科学	Predictive Value of Cortical Thickness Measured by Ultrasonography for Renal Impairment: A Longitudinal Study in Chronic Kidney Disease.	Journal of clinical medicine, 7(12)pp., 2018	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種 別
123	Tanishima, S; Mihara, T; Tanida, A et al.	視覚病態学	Influence of Diabetes Mellitus on Surgical Outcomes in Patients with Cervical Myelopathy: A Prospective, Multicenter Study.	Asian spine journal, ()pp., 2018	Original Article
124	Izawa, M; Taniguchi, F; Harada, T	生殖機能医学	GATA6 expression promoted by an active enhancer may become a molecular marker in endometriosis lesions.	American journal of reproductive immunology (New York, N.Y. : 1989), 81(2)pp.e13078, 2019	Original Article
125	Saito, H; Shimizu, S; Kono, Y et al.	病態制御外科学	PD-1 Expression on Circulating CD8+ T-Cells as a Prognostic Marker for Patients With Gastric Cancer.	Anticancer research, 39(1)pp.443-448, 2019	Original Article
126	Ehara, Y; Sugita, K; Goto, H et al.	皮膚病態学	Multiple microvenular hemangioma eruptively concentrated on an adult face: Importance of clinical differential diagnosis.	The Journal of dermatology, ()pp., 2019	Letter
127	Harada, T; Sueda, Y; Okada, K et al.	分子制御内科学	Splenic Infarction in Acute Cytomegalovirus and Human Parvovirus Concomitant Infection.	Case reports in infectious diseases, 2018()pp.7027656, 2018	Case Reports
128	Uchinaka, E; Amisaki, M; Morimoto, M et al.	病態制御外科学	Utility and Limitation of Preoperative Neutrophil Lymphocyte Ratio as a Prognostic Factor in Hepatocellular Carcinoma.	Yonago acta medica, 61(4)pp.197-203, 2018	Original Article
129	Tanaka, N; Takeda, K; Kawasaki, Y et al.	分子制御内科学	Early Intensive Nutrition Intervention with Dietary Counseling and Oral Nutrition Supplement Prevents Weight Loss in Patients with Advanced Lung Cancer Receiving Chemotherapy: A Clinical Prospective Study.	Yonago acta medica, 61(4)pp.204-212, 2018	Original Article
130	Kimura, T; Kawai, T; Ohuchi, Y et al.	画像診断治療学	Non-Surgical Management of Bile Leakage After Hepatectomy: A Single-Center Study.	Yonago acta medica, 61(4)pp.213-219, 2018	Original Article
131	Fujita, A; Tanishima, S; Kato, Y et al.	視覚病態学	Utility of CD64 on Neutrophils in Orthopedic Infection.	Yonago acta medica, 61(4)pp.228-236, 2018	Original Article
132	Amisaki, M; Yagyu, T; Uchinaka, E et al.	病態制御外科学	Impact of postoperative mean arterial pressure on the incidence of postoperative complications after hepatic resection for primary liver malignancy.	Surgery today, ()pp., 2019	Original Article
133	Deura, I; Shimada, M; Azuma, Y et al.	生殖機能医学	Comparison of laparoscopic surgery and conventional laparotomy for surgical staging of patients with presumed low-risk endometrial cancer: The current state of Japan.	Taiwanese journal of obstetrics & gynecology, 58(1)pp.99-104, 2019	Original Article
134	Harada, T; Kuji, N; Ishihara, O; Ichikawa, T et al.	生殖機能医学	Guideline for cryopreservation of unfertilized eggs and ovarian tissues in Japan Society of Reproductive Medicine: Ethics Committee in Japan Society of Reproductive Medicine.	Reproductive medicine and biology, 18(1)pp.3-6, 2019	Original Article
135	Kamata, Y; Shinohara, Y; Kuya, K et al.	画像診断治療学	Computed diffusion-weighted imaging for acute pediatric encephalitis/encephalopathy.	Acta radiologica (Stockholm, Sweden : 1987), ()pp.284185118823335, 2019	Original Article
136	Fujiwara, K; Kawamoto, K; Taira, K et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	Efficacy of fluoroscopy-guided endoscopic cricopharyngeal myotomy.	The Journal of laryngology and otology, 132(12)pp.1128-1133, 2018	Original Article
137	Okuda, K; Fujii, S; Sakimoto, S	放射線部	Impact of Novel Incorporation of CT-based Segment Mapping into a Conjugated Gradient Algorithm on Bone SPECT Imaging: Fundamental Characteristics of a Context-specific Reconstruction Method.	Asia Oceania journal of nuclear medicine & biology, 7(1)pp.49-57, 2019	Original Article
138	Yamamoto, M; Saito, H; Uejima, C et al.	病態制御外科学	Combination of Serum Albumin and Cholinesterase Levels as Prognostic Indicator in Patients with Colorectal Cancer.	Anticancer research, 39(2)pp.1085-1090, 2019	Original Article
139	Morimoto, M; Honjo, S; Sakamoto, T et al.	病態制御外科学	Bacterial smear test of drainage fluid after pancreaticoduodenectomy can predict postoperative pancreatic fistula.	Pancreatolgy : official journal of the International Association of Pancreatolgy (IAP) ... [et al.], 19(2)pp.274-279, 2019	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種 別
140	Isomoto, H; Kanda, T	機能病態内科 学	First human application of a flexible 3-D endoscope for gastrointestinal endoscopic submucosal dissection.	Digestive endoscopy : official journal of the Japan Gastroenterological Endoscopy Society, ()pp., 2019	Editori al
141	Hayashi, I; Enokida, M; Nagira, K et al.	視覚病態学	Change in the pennation angle of the supraspinatus muscle after rotator cuff tear repair.	Journal of shoulder and elbow surgery, 28 (5)pp. 888-892, 2019	Origina l Article
142	Taneda, K; Adachi, T; Watanabe, Y et al.	脳神経内科学	Cerebral Venous Thrombosis due to Nontyphoidal Salmonella Bacteremia.	Internal medicine (Tokyo, Japan), ()pp., 2019	Origina l Article
143	Sugihara, T; Isomoto, H; Gores, G et al.	機能病態内科 学	YAP and the Hippo pathway in cholangiocarcinoma.	Journal of gastroenterology, ()pp., 2019	Review
144	Yagyu, T; Saito, H; Sakamoto, T et al.	病態制御外科 学	Preoperative Albumin-Bilirubin Grade as a Useful Prognostic Indicator in Patients With Pancreatic Cancer.	Anticancer research, 39 (3)pp. 1441-1446, 2019	Origina l Article
145	Murakami, Y; Saito, H; Shimizu, S et al.	病態制御外科 学	Evaluation of the Estimation of Physiologic Ability and Surgical Stress Score as a Prognostic Indicator for Older Patients with Gastric Cancer.	Digestive surgery, ()pp. 1-8, 2019	Origina l Article
146	Yamamoto, M; Saito, H; Uejima, C et al.	病態制御外科 学	Estimation of Physiological Ability and Surgical Stress Score Is a Useful Prognostic Indicator for Elderly Patients with Colorectal Cancer.	Digestive surgery, ()pp. 1-9, 2019	Origina l Article
147	Ichiki, T; Sugita, K; Goto, H et al.	皮膚病態学	Localized Pegfilgrastim-induced Neutrophilic Dermatitis with Tissue G-CSF Expression: A Mimicker of Sweet's Syndrome.	Acta dermato-venereologica, ()pp., 2019	Origina l Article
148	Tsubouchi, Y; Tanabe, A; Saito, Y et al.	脳神経小児科 学	Long-term prognosis of epilepsy in patients with cerebral palsy.	Developmental medicine and child neurology, ()pp., 2019	Origina l Article
149	Nosaka, K; Makishima, K; Sakabe, T et al.	器官病理学	Upregulation of glucose and amino acid transporters in micropapillary carcinoma.	Histology and histopathology, ()pp. 18099, 2019	Origina l Article
150	Kanda, T; Sugihara, T; Takata, T et al.	機能病態内科 学	Low-density lipoprotein receptor expression is involved in the beneficial effect of photodynamic therapy using talaporfin sodium on gastric cancer cells.	Oncology letters, 17 (3)pp. 3261-3266, 2019	Origina l Article
151	Isomoto, H	機能病態内科 学	Evolution of endoscopic resection for early esophageal squamous cell carcinoma in Western countries.	Endoscopy, 51 (4)pp. 296-297, 2019	Origina l Article
152	Enokida, S; Tanishima, S; Tanida, A et al.	視覚病態学	Evaluation of age-related changes in lumbar facet joints using T2 mapping.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association, ()pp., 2019	Origina l Article
153	Goto, H; Kiyohara, Y; Shindo, M et al.	皮膚病態学	Symptoms of and Palliative Treatment for Unresectable Skin Cancer.	Current treatment options in oncology, 20 (4)pp. 34, 2019	Review
154	Onoyama, T; Matsumoto, K; Takeda, Y et al.	機能病態内科 学	Endoscopic Ultrasonography-Guided Fine Needle Aspiration for Extrahepatic Cholangiocarcinoma: A Safe Tissue Sampling Modality.	Journal of clinical medicine, 8 (4)pp., 2019	Origina l Article
155	Honda, M; Kimura, Y; Tsounapi, P et al.	腎泌尿器学	Long-Term Efficacy, Safety, and Tolerability of Modified Intravesical Oxybutynin Chloride for Neurogenic Bladder in Children.	Journal of clinical medicine research, 11 (4)pp. 256-260, 2019	Origina l Article
156	Motokura, T	臨床検査医学	Turning Point in the Treatment of Mantle Cell Lymphoma.	Yonago acta medica, 62 (1)pp. 1-7, 2019	Review
157	Matsumoto, K; Ohuchi, Y; Yata, S et al.	画像診断治療学	Compressed Amplatzer Vascular Plug II Embolization of the Left Subclavian Artery for Thoracic Endovascular Aortic Repair is Efficient and Safety Method Comparable to Conventional Coil Embolization.	Yonago acta medica, 62 (1)pp. 24-29, 2019	Origina l Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種 別
158	Yamane, M; Matono, T; Okano, J et al.	機能病態内科 学	Protective Effects of Ipragliflozin, a Sodium-glucose Cotransporter 2 Inhibitor, on a Non-alcoholic Steatohepatitis Mouse Model.	Yonago acta medica, 62(1)pp.30-35, 2019	Original Article
159	Nagahara, R; Matono, T; Sugihara, T et al.	機能病態内科 学	Gene Expression Analysis of the Activating Factor 3/Nuclear Protein 1 Axis in a Non-alcoholic Steatohepatitis Mouse Model.	Yonago acta medica, 62(1)pp.36-46, 2019	Original Article
160	Endo, Y; Kuwamoto, S; Ohira, T et al.	病理部	Possible Relationship Between MYBL1 Alterations and Specific Primary Sites in Adenoid Cystic Carcinoma: A Clinicopathological and Molecular Study of 36 Cases.	Yonago acta medica, 62(1)pp.67-76, 2019	Original Article
161	Miyake, N; Chikumi, H; Yamaguchi, K et al.	分子制御内科 学	Effect of Cetuximab and EGFR Small Interfering RNA Combination Treatment in NSCLC Cell Lines with Wild Type EGFR and Use of KRAS as a Possible Biomarker for Treatment Responsiveness	Yonago acta medica, 62(1)pp.85-93, 2019	Original Article
162	Koda, H; Matsumoto, K; Takeda, Y et al.	消化器内科	Randomized Controlled Trial Comparing the Usefulness of Endoscopic Ultrasound Processor.	Yonago acta medica, 62(1)pp.94-99, 2019	Original Article
163	Fujii, M; Ueki, M; Uehara, K et al.	新規医療研究推 進センター	Pain Evaluation During Colonoscopy by the Erythema Index of the Facial Image.	Yonago acta medica, 62(1)pp.100-108, 2019	Original Article
164	Fujii, T; Kunimoto, Y; Kisaka, T et al.	耳鼻咽喉・頭 頸部外科学	Three Dimensional Motion Analysis of Hand Tremors During Endoscopic Ear Surgery.	Yonago acta medica, 62(1)pp.109-114, 2019	Original Article
165	Yamamoto, M; Saito, H; Uejima, C et al.	病態制御外科 学	Prognostic Value of Combined Tumor Marker and Controlling Nutritional Status (CONUT) Score in Colorectal Cancer Patients.	Yonago acta medica, 62(1)pp.124-130, 2019	Original Article
166	Ishibashi, M; Tanabe, Y; Yunaga, H et al.	画像診断治療学	Usefulness of Preoperative 18F-FDG PET/CT for Patients with Thymic Epithelial Tumors.	Yonago acta medica, 62(1)pp.146-152, 2019	Original Article
167	Ito, A; Sugita, K; Ikeda, A et al.	皮膚病態学	CD4/CD8 Double-negative Mycosis Fungoides: A Case Report and Literature Review.	Yonago acta medica, 62(1)pp.153-158, 2019	Original Article
168	Okazaki, T; Saito, Y; Sugita, K et al.	脳神経小児科 学	Recurrent Erythema Nodosum in a Child with a SHOC2 Gene Mutation.	Yonago acta medica, 62(1)pp.159-162, 2019	Original Article

計168件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文 (任意)

発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
田中 茜, 岸田 絢子, 塚田 結佳 他	看護部	若年性乳がん患者が抱く不安について	看護展望 (0385-549X) 43巻6号 Page59-65 (2018. 05)	原著論文
田村 隆行, 谷口 奈緒美, 大月 一真 他	口腔顎顔面病態外科学	PF療法施行中にSIADHを発症し意識障害を来した舌癌の1例	癌と化学療法 (0385-0684) 45巻5号 Page855-857 (2018. 05)	原著論文/症例報告
岩本 拓, 河口 剛一郎, 森尾 慶子 他	機能病態内科学	当院における大腸憩室出血に対する内視鏡的バンド結紮術の検討	日本高齢消化器病学会誌 (1881-0837) 20巻2号 Page46-50 (2018. 03)	原著論文/比較研究
畑山 祐輝, 仲田 夢人, 堀江 拓耶 他	検査部	グリコヘモグロビンA1c分析装置ADAMS A1c HA-8182の基礎的検討	医療と検査機器・試薬 (1347-0434) 41巻3号 Page263-267 (2018. 06)	原著論文
池淵 愛, 谷口 文紀, 村上 二朗 他	生殖機能医学	マイクロ波子宮内膜アブレーション (MEA:microwave endometrial ablation) とレボノルゲストレル徐放型子宮内システム (LNG-IUS:levonorgestrel-releasing intrauterine system) を用いた過多月経および月経困難症の治療	現代産婦人科 (1882-482X) 66巻2号 Page229-233 (2018. 06)	原著論文/比較研究
山根 恵美子, 上垣 崇, 谷口 文紀 他	生殖機能医学	完全型中隔子宮に対する子宮鏡下中隔切除術後に妊娠分娩に至った1例	現代産婦人科 (1882-482X) 66巻2号 Page267-271 (2018. 06)	原著論文/症例報告
原田 智也, 山崎 章, 福岡 健人 他	呼吸器内科・膠原病内科	妊娠合併喘息の増悪と出生児との関連	アレルギー・免疫 (1344-6932) 25巻8号 Page1064-1070 (2018. 07)	原著論文/比較研究
矢間 敬章, 國本 泰臣, 横山 裕子 他	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	側頭部放線菌症の1例	日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会会誌 (2188-0077) 6巻2号 Page88-92 (2018. 05)	原著論文/症例報告
落合 諒也, 篠原 祐樹, 高橋 正太郎 他	画像診断治療学	水痘帯状疱疹ウイルス感染による多発下位脳神経炎の1例	臨床放射線 (0009-9252) 63巻6号 Page715-719 (2018. 06)	原著論文/症例報告
川田 壮一郎, 松本 和也, 孝田 博輝 他	消化器内科	悪性遠位胆管閉塞に対する術前胆道ステント留置法の検討	胆道 (0914-0077) 32巻2号 Page216-223 (2018. 05)	原著論文/比較研究
中村 廣繁, 谷口 雄司, 三和 健 他	胸部外科学	肺癌に対する低侵襲手術の現状	肺癌 (0386-9628) 58巻3号 Page175-181 (2018. 06)	総説
井東 朗子, 田窪 千子, 小川 修史 他	口腔顎顔面病態外科学	頬部に生じた孤立性線維性腫瘍の2例	日本口腔外科学会雑誌 (0021-5163) 64巻7号 Page412-417 (2018. 07)	原著論文/症例報告
谷尾 俊輔, 田窪 千子, 藤井 信行 他	口腔顎顔面病態外科学	顎下腺に生じた筋上皮腫の1例	日本口腔外科学会雑誌 (0021-5163) 64巻7号 Page429-433 (2018. 07)	原著論文/症例報告
横川 敬, 林 育太, 榎田 誠 他	整形外科	腱板中断裂における術後再断裂の危険因子	中国・四国整形外科学会雑誌 (0915-2695) 30巻1号 Page95-98 (2018. 04)	原著論文/比較研究
和田 崇, 松本 浩実, 谷島 伸二 他	リハビリテーション部	術前腰部脊柱管狭窄症患者における痛みの破局的思考の関連因子についての横断研究	理学療法学 (0289-3770) 45巻3号 Page150-157 (2018. 06)	原著論文/比較研究
松重 貴大, 桑本 聡史, 山田 恭子 他	病理部	Superficial CD34-positive fibroblastic tumorの細胞学的検討	日本臨床細胞学会雑誌 (0387-1193) 57巻4号 Page217-222 (2018. 07)	原著論文/症例報告
林田 拓也, 斎藤 義朗, 前垣 義弘	脳神経小児科学	薬剤抵抗性の小児慢性片頭痛におけるtopiramate予防内服	脳と発達 (0029-0831) 50巻4号 Page269-275 (2018. 07)	原著論文
仲田 夢人, 遠藤 由香利, 原文子 他	検査部	CEA異常高値から診断された原発不明癌による縦隔リンパ節転移の一症例	医学検査 (0915-8669) 67巻4号 Page591-597 (2018. 07)	原著論文/症例報告
三和 健, 藤原 和歌子, 城所 嘉輝 他	胸部外科学	術前治療後に胸腔鏡下左上葉切除に続きtransmanubrial approach (TMA) で切除した肺尖部浸潤肺癌の1例	日本呼吸器外科学会雑誌 (0919-0945) 32巻5号 Page573-579 (2018. 07)	原著論文/症例報告
東 幸弘, 谷口 文紀, 池淵 愛 他	生殖機能医学	腹腔鏡下子宮筋腫核出術後に発症したポートサイトヘルニアの1例	産科と婦人科 (0386-9792) 85巻11号 Page1403-1406 (2018. 11)	原著論文/症例報告
北川 寛, 内田 伸雄, 田原 誉敏 他	画像診断治療学	悪性傍神経節腫の骨転移に対して放射線治療が有効であった1例	臨床放射線 (0009-9252) 63巻10号 Page1141-1147 (2018. 10)	原著論文/症例報告

発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
小椋 貴文, 細谷 朋央, 中島 定男 他	脳神経外科学	カベルゴリン治療によるプロラクチン産生下垂体腺腫の画像変化の検討	日本内分泌学会雑誌 (0029-0661) 94巻Suppl. HPT Page64-66 (2018. 09)	原著論文
中村 梨沙, 渡邊 美保, 立花 麻美 他	看護部	【今日の外来看護を考える-その専門性と実際】 EGFRチロシンキナーゼ阻害薬による治療を受ける肺がん患者への外来看護の現状	看護実践の科学 (0385-4280) 43巻12号 Page26-29 (2018. 11)	原著論文/ 特集
永原 蘭, 的野 智光, 孝田 雅彦 他	消化器内科	肝硬度が血管形成術治療効果判定に有用であったBudd-Chiari症候群の1例	肝臓 (0451-4203) 59巻10号 Page563-570 (2018. 10)	原著論文/ 症例報告
仲田 夢人, 畑山 祐輝, 堀江 拓耶 他	検査部	グルコース分析装置ADAMS Glucose GA-1172の基礎的検討	医学検査 (0915-8669) 67巻5号 Page694-700 (2018. 10)	原著論文
鎌田 裕司, 篠原 祐樹, 加藤 亜結美 他	画像診断治療学	髄液漏を伴ったGorham-Stout病の1例	GI研究 (0918-7073) 40巻2号 Page81-85 (2018. 09)	原著論文/ 症例報告
青木 康太, 城所 嘉輝, 藤原 和歌子 他	卒後臨床研修センター	胸腔鏡下手術で摘出した釘誤嚥による肺内異物の1例	米子医学雑誌 (0044-0558) 69巻3-5号 Page50-54 (2018. 09)	原著論文/ 症例報告
辻本 美沙, 宮原 史子, 奈良井 哲 他	周産期・小児医学	当院で経験した向精神薬内服母体から出生した児の検討	日本周産期・新生児医学会雑誌 (1348-964X) 54巻4号 Page1024-1029 (2018. 12)	原著論文/ 比較研究
花島 律子	脳神経内科学	経頭蓋磁気刺激法による神経疾患の運動野興奮性機構異常の検出	米子医学雑誌 (0044-0558) 69巻6号 Page61-65 (2018. 11)	原著論文
橘田 勇紀, 松本 浩実, 萩野 浩	リハビリテーション部	回復期リハビリテーション病棟に入院した脳卒中片麻痺患者の骨量と関連因子についての横断的研究	日本骨粗鬆症学会雑誌 (2189-8383) 4巻4号 Page565-574 (2018. 11)	原著論文/ 比較研究
大松 寛, 松浦 一貴, 井上 幸次	視覚病態学	白内障術前抗感染点眼薬の施行率と点眼方法の観察	IOL & RS (1341-3678) 32巻4号 Page644-647 (2018. 12)	原著論文
和田 健二, 菊池 隆, 亀山 祐美 他	脳神経内科学	アルツハイマー病に対する抗認知症薬の切替または追加後の症状変化について ABC認知症スケールによる評価	老年精神医学雑誌 (0915-6305) 30巻1号 Page73-83 (2019. 01)	原著論文
尾崎 知博, 齊藤 博昭, 河野 友輔 他	病態制御外科学	【「担当がん患者の栄養管理はどうすべきか」】 腹腔鏡下胃切除術後早期に発生する胃切除後障害の性差について	外科と代謝・栄養 (0389-5564) 52巻5号 Page247-252 (2018. 10)	原著論文/ 比較研究/ 特集
山崎 厚志, 河本 由紀美, 魚谷 竜 他	視覚病態学	急激な血糖値低下により急性増悪した単純糖尿病網膜症症例の脈絡膜変化	あたらしい眼科 (0910-1810) 36巻1号 Page102-106 (2019. 01)	原著論文
藤井 政至, 八島 一夫, 河口 剛一郎 他	消化器内科	当院におけるS状結腸軸捻転症に対する内視鏡的治療成績と臨床的検討	日本高齢消化器病学会誌 (1881-0837) 21巻2号 Page18-24 (2019. 03)	原著論文
田中 茜, 中山 歩実, 深田 美香 他	看護部	心臓手術後患者の退院後自己管理行動の現状 退院支援加算該当の有無による比較	日本看護学会論文集: 在宅看護 (2188-6474) 49号 Page7-10 (2019. 02)	原著論文
野上 瀬奈, 桑本 奈々美, 大櫃 恵子 他	看護部	病棟看護師の退院前後自宅訪問経験と在宅療養への移行を支援する看護実践の自己評価の関連	日本看護学会論文集: 在宅看護 (2188-6474) 49号 Page11-14 (2019. 02)	原著論文
寺岡 祥吾, 西川 結梨, 山根 浩史 他	腎泌尿器科学	腎温存が可能であったStage III黄色肉芽腫性腎盂腎炎の1例	西日本泌尿器科 (0029-0726) 81巻1号 Page33-39 (2019. 02)	原著論文
渡邊 仁美, 藤井 晴美, 依藤 裕子 他	看護部	看護組織におけるアウトカムマネジメント	日本医療情報学会看護学大会論文集 (2187-1469) 19回 Page93-96 (2018. 07)	原著論文
加藤 雅彦	病態情報内科学	睡眠時無呼吸症候群患者における尿酸代謝	痛風と核酸代謝 (1344-9796) 42巻2号 Page143-146 (2018. 12)	総説
朴 盛弘	精神行動医学	光トポグラフィ検査による精神疾患の主観的健康度評価手法の開発	医科学応用研究財団研究報告 (0914-5117) 36巻 Page130-133 (2019. 02)	原著論文
鳥橋 孝一, 小椋 貴文, 細谷 朋央 他	脳神経外科学	【血管吻合術の工夫】 STA-MCAバイパス術を安全に施行するための各種モダリティの使い方	脳卒中の外科 (0914-5508) 47巻1号 Page12-16 (2019. 01)	原著論文/ 特集

計42件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを入力すること。
2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 1. 目的と適応範囲 1. 1. 目的 1. 2. 適応範囲 2. 委員会の構成 2. 1. 委員 2. 2. 委員会事務局 2. 3. 教育・研修 2. 4. 守秘義務 2. 5. 利益相反の管理 3. 審査・報告事項 4. コンサルテーション 5. 審査・報告申請 5. 1. 審査・報告資料の提出 5. 2. 提出資料 6. 倫理審査 6. 1. 一般審査 6. 2. 迅速審査 7. 審査結果の通知 8. 審査結果通知後の対応 9. 調査 10. 他の研究機関からの審査依頼 11. 情報公開 12. 記録の保管	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 3 6 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 (目的) 鳥取大学医学部附属病院における臨床研究の実施者及びその関係者の利益相反(以下「利益相反」という。)が深刻な事態へと発展することを未然に防止するため、臨床研究に係る利益相反の適切な管理(以下「利益相反マネジメント」という。)に関し必要な事項を定め、もって臨床研究の適正な推進を図ることを目的とする。 (利益相反マネジメントの対象及び基準) 利益相反マネジメントの対象者は、次に掲げる者 一 臨床研究実施者等 二 臨床研究実施者等の配偶者及び臨床研究実施者等と生計を一にする当該臨床研究実施者等の扶養親族 三 その他審査委員会が必要と判断した者 開示対象とする事項 一 経済的利益 二 経営関与 利益相反マネジメントは、臨床研究を実施するに当たり、被験者及び社会に対し、教育者・研究者又は医療関係者としての公正性に客観的な疑念を生じさせるか否かを判断基準として行うものとする。 (臨床研究実施者等の責務) 利益相反の発生が懸念される場合は、この規程に定めるところにより所定の手続きを経るほか、透明性、公正性の確保に自ら努める。	

(臨床研究利益相反審査委員会の業務等)	
一 利益相反の防止に関すること。	
二 利益相反に係る調査及び審査に関すること。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 2 回
・研修の主な内容 1. 研究責任者の資格 2. 臨床研究のデザイン 3. 臨床研究の統計解析手法 4. 研究計画書作成のワークショップ 5. 臨床研究の実施と安全性管理 6. 臨床研究のデータ管理と品質マネジメント	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

・男性不妊症、受精障害、不妊症に対する顕微授精法・羊水過少例、前期破水例に対する羊水注入療法・臍帯穿刺による胎児検査、胎児治療・子宮内膜症合併不妊に対する腹腔鏡下手術・体腔鏡下腎摘術・ボツリヌス毒素の膀胱内注入・非小細胞肺癌に対するWeekly Paclitaxel の有用性に関する検討・複雑系理論を応用した睡眠時無呼吸障害患者の診断・遺伝子産物抗体測定による肺癌診断・ras rho p53 遺伝子PCRによる癌性胸膜炎診断・音声再建・睡眠時無呼吸治療・急速減感作療法・再建外科を含む頭頸部腫瘍の治療・小児の難治性疾患に対する診断と治療に関する手技を研修・経動脈性門脈造影下CT、アンギオCTの手技及び診断・IVH・上部消化管内視鏡・上部消化管造影・頸髄症の病態と手術適応・変形性関節症の病態と人工関節手術の適応・膝内障の病態と関節鏡視下手術・脊髄誘発電位検査・小児難治性疾患に対する診断・植込型除細動器植込術・上室ならびに心室性頻拍症に対する高周波カテーテル焼却術・脳血管内手術・エキシマレーザーによる治療的レーザー角膜切除術(PTK)・エキシマレーザーによる近視矯正手術(LASIK)・マイクロケラトームを用いた角膜移植術・real-time PCRを用いたヘルペス性眼疾患診断・肺動脈カテーテル挿入術・経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈ステント留置術・近赤外線スペクトロスコーピー(NIRS)を用いたうつ状態の鑑別・統合失調症に対する認知リハビリテーション・臨床心臓電気生理学的検査・難治性円形脱毛症に対するステロイドパルス療法・天疱瘡に対するIVI療法・ステンドグラフトワークショップ・がんのリハビリテーション・熱傷手術・ロボット支援膀胱全摘術・放射線治療計画シミュレーション・密封小線源治療

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	79人
-------------	-----

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
山本 一博	循環器内科／ 内分泌代謝内科	主任診療科長	33年	
磯本 一	消化器内科／ 腎臓内科	主任診療科長	29年	
山崎 章	呼吸器内科／ 膠原病内科	主任診療科長	26年	
兼子 幸一	精神科	診療科長	34年	
難波 範行	小児科	診療科長	28年	
藤原 義之	消化器外科／ 小児外科	診療科長	32年	

西 村 元 延	心臓血管外科	診療科長	36 年	
中 村 廣 繁	胸部外科／ 乳腺内分泌外科	主任診療科長	35 年	
永 島 英 樹	整形外科／ リウマチ科	診療科長	31 年	
山 元 修	皮膚科	診療科長	37 年	
武 中 篤	泌尿器科	診療科長	33 年	
井 上 幸 次	眼科	診療科長	38 年	
竹 内 裕 美	耳鼻咽喉科／ 頭頸部外科	主任診療科長	38 年	
藤 井 進 也	放射線科／ 放射線治療科	主任診療科長	21 年	
原 田 省	産婦人科	主任診療科長	36 年	
稲 垣 喜 三	麻酔科	主任診療科長	38 年	
小 谷 勇	歯科口腔外科	診療科長	25 年	
今 村 武 史	薬物療法内科	診療科長	32 年	
八 木 俊路朗	形成外科	診療科長	18 年	
本 間 正 人	救急科	診療科長	31 年	
福 田 哲 也	血液内科	診療科長	30 年	
花 島 律 子	脳神経内科	診療科長	29 年	
黒 崎 雅 道	脳神経外科	診療科長	29 年	
前 垣 義 弘	脳神経小児科／ 遺伝子診療科	診療科長	31 年	
梅 北 善 久	病理診断科／ 神経病理診断科	主任診療科長	32 年	

千 酌 浩 樹	感染症内科	診療科長	31 年	
---------	-------	------	------	--

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

1. ホスピタリティ研修

- ・研修の主な内容 医療従事者として必要なホスピタリティを体験学習から学ぶ
- ・研修の期間・実施回数 平成30年4月10日・1回
- ・研修の参加人数 120名

2. 接遇研修

- ・研修の主な内容 よりよい看護サービスを提供するための接遇を学ぶ
- ・研修の期間・実施回数 平成30年4月5日・1回
- ・研修の参加人数 77名

3. 臨床における倫理的な課題

- ・研修の主な内容 臨床における倫理的課題から看護師としての基本的な考え方を理解する
- ・研修の期間・実施回数 平成30年4月5日・1回
- ・研修の参加人数 77名

4. BLS研修

- ・研修の主な内容 一次救命処置の知識を確認する
- ・研修の期間・実施回数 平成30年7月20日、7月23日・2回
- ・研修の参加人数 60名

5. 認知症患者の看護・対応について

- ・研修の主な内容 認知症患者の介護を理解する
- ・研修の期間・実施回数 平成30年7月9日・1回
- ・研修の参加人数 118名

6. ポジティブマネジメント

- ・研修の主な内容 ポジティブマネジメントを学ぶ（強みを引き出し、その人らしさを支える）
- ・研修の期間・実施回数 平成30年9月28日・1回
- ・研修の参加人数 84名

7. 倫理研修（身体を拘束しない～看護）

- ・研修の主な内容 臨床での倫理的課題に関する事例検討を通じて、倫理観を醸成する
- ・研修の期間・実施回数 平成30年10月23日・1回
- ・研修の参加人数 60名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

1. メンタルヘルスマネジメント研修

- ・研修の主な内容 管理職員を対象に、安全配慮義務とメンタルヘルス不全による休職者、復職者への対応、特に予兆段階、復職時の対応、職場復帰後のフォローまでのポイントや法的な留意点を学ぶ
- ・研修の期間・実施回数 平成30年11月16日・1回
- ・研修の参加人数 18名

2. 労務管理研修会

- ・研修の主な内容 本学の就業規則、労使協定を踏まえて、長時間労働による健康障害の防止（安全配慮義務）、勤務時間管理等について意識啓発を行う。また、障害者差別解消法の施行に伴う対応等について学ぶ
- ・研修の期間・実施回数 平成30年8月29日・1回
- ・研修の参加人数 24名

3. ハラスメント防止研修会

- ・研修の主な内容 ハラスメント防止に関する基本的な知識を修得し、ハラスメントのない職場作りを行う
- ・研修の期間・実施回数 平成30年5月17日・1回
- ・研修の参加人数 52名

4. 情報セキュリティ研修会

- ・研修の主な内容 最近のコンピュータウイルスの動向と改正個人情報保護法後の対策について
- ・研修の期間・実施回数 平成31年3月・1回
- ・研修の参加人数 22名

5. 医療安全研修

- ・研修の主な内容 医療機関へのサイバー攻撃とその対策
- ・研修の期間・実施回数 平成30年11月・1回
- ・研修の参加人数 124名

6. 平成30年度情報セキュリティ研修会（一般向け）

- ・研修の主な内容 情報セキュリティ遵守事項、不審メール対応訓練
- ・研修の期間・実施回数 平成30年9月・2回
- ・研修の参加人数 123名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

（注）1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

（注）2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 原田 省
管理担当者氏名	総務課長 藤元 高德、医事課 徳長 博志

			保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	項 規則第二十一条の三第二項に掲げる事	病院日誌	総務課	外来カルテ、入院カルテは電子カルテにて中央管理。 紙媒体によるものはスキャンにて電子保存 電子化されているものは電子カルテ管理 エックス線写真は電子カルテにて中央管理（一部フィルムにて各診療科保管）。 なお、診療録を病院外に持ち出すことは禁止している。 病院日誌は、紙ベースにて日付順に保管。
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	医療情報部	
		手術記録	医療情報部	
		看護記録	医療情報部	
		検査所見記録	医療情報部	
		エックス線写真	医療情報部	
		紹介状	医療情報部	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報部	
病院の管理及び運営に関する諸記録	三 規則第二十二條の三第	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	高度の医療の研修の実績は、年度毎に紙媒体で管理している。
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営企画課 医学図書館	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
	に 規則第一条の十一第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 MEセンター
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	MEセンター		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部 MEセンター		

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部
		監査委員会の設置状況	医療安全管理部
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部 医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全管理部
		職員研修の実施状況	医療安全管理部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 原田 省	
閲覧担当者氏名	総務課長 藤元 高德、医事課長 徳長 博志	
閲覧の求めに応じる場所	相談室	
閲覧の手続の概要		
① 公開は、請求者が「開示請求書」を情報公開窓口の総務企画部総務課広報企画係に提出する。		
② 大学は開示・不開示の決定を行い、「決定通知書」により請求者へ通知する。		
③ 請求者は、開示の実施方法・希望日を「開示の実施方法の申出書」により窓口へ申し出、開示実施手数料を支払う。		
④ 開示（閲覧）を実施する。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医 師	延	0	件
	歯 科 医 師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： (1) 安全管理に関する基本的考え方 (2) 安全管理のための組織に関する基本的事項 (3) 医療安全管理のための医療従事者に対する研修に関する基本方針 (4) 医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 (5) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 (6) 本院における医療従事者と患者及び家族等との間の情報の共有に関する基本方針 (7) 患者及び家族等からの相談への対応に関する基本方針 (8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況 ・ 設置の有無（ 有・無 ） ・ 開催状況：年 13 回 ・ 活動の主な内容： 医療に係る安全管理体制の確保及び推進を図り、医療事故等及び医療行為に基づく医事紛争に対する防止策等について審議する。 (審議事項) ・ 医療に係る安全管理のための指針の策定・整備に関すること ・ 医療に係る安全管理のための教育・研修の企画・立案に関すること ・ 医療に係る安全確保を目的とした改善のための方策に関すること ・ 医療事故等及び医事紛争を防止するために必要な啓発及び対策に関すること ・ 医療事故等発生時の対応、事実確認並びに医療安全の確保及び医療事故等の再発防止に関し病院長から命を受けたこと ・ その他医療に係る安全管理体制の確保及び推進に関すること	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年101回
・ 研修の内容（すべて）： ・ 医療安全研修会（9回） ・ DVD視聴研修会（13回） ・ 配付DVD研修会（2回） ・ Eラーニング研修会（2回） ・ 委託業務従事者研修会（2回） ・ 医療機器研修会（13回） ・ BLS出張講習会（14回） ・ 薬剤関連研修会（3回） ・ 病院情報システム研修会（20回） ・ 新採用・中途採用オリエンテーション（21回） ・ 院内認定看護師育成研修（2回）	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (☒ ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

(報告の分析)

1. 医療安全管理責任者の指示のもと、医療安全管理者が、インシデント報告書を基に①内容 ②原因と要因 ③改善策 ④患者影響レベル ⑤患者及び家族への対応と反応等について現場で確認を行っている。
2. 1を基に問題点を抽出し、現場や院内全体での改善策を講じている。

(検討方法)

1. 医療安全管理責任者を中心に、医療安全管理者、リスクマネジメント専門委員会委員が、インシデント報告についてカンファレンスを実施し、再発防止対策を検討する。
2. 医療安全管理者は毎月の事例を分析し報告書を作成、リスクマネジメント専門委員会・医療事故防止等対策委員会・病院運営会議・統括医長連絡会・リスクマネジメント担当者連絡会・看護師長会議等で報告し検討している。
3. 事例によっては、クオリティ審査専門委員会・拡大クオリティ審査専門委員会等で審査を行う。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 感染管理組織に関する基本事項 3. 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する「鳥取大学医学部附属病院における院内感染対策のための指針」の閲覧に関する基本方針 7. 院内感染対策推進のために必要な基本方針 8. 職業感染防止のための基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容： 1. 感染予防の対策に関すること 2. 感染予防対策実施の監視及び指導に関すること 3. 感染予防に係る情報の収集に関すること 4. 感染の発生原因及び感染経路の調査に関すること 5. その他感染予防に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の内容（すべて）： ・ 全職種で手指衛生を改善する！&職業感染防止情報管理システム ・ 病院で流行するウイルス感染症とその予防	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 感染症診療カンファレンスによる抗菌薬耐性菌検出患者・血液培養陽性患者・MRSA感染症治療薬および広域抗菌薬投与患者などの診断・治療・感染対策の検討 ・ 病棟ラウンドによる感染対策実施状況確認と現場指導 ・ サーベイランスによる感染症情報の把握とアウトブレイクへの対応 ・ 感染制御部メンバーによる定期ミーティング	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年38回
・ 研修の主な内容： ・ 医療安全取り組み報告会（検査及び処置時の鎮痛・鎮静ワーキング報告と提言）（1回） ・ 医療安全研修会（特殊管理薬剤の管理について）（1回） ・ インスリン療法研修会（1回） ・ 静脈注射院内認定看護師育成研修（1回） ・ 造影剤静脈注射院内認定看護師育成研修（1回） ・ 病院情報システム・リスクマネジメント（処方オーダー時の留意点について）（17回） ・ 薬剤師による病棟等への出張研修（13回） ・ 鳥取大学医学部附属病院新採用職員オリエンテーション（薬剤部について）（1回） ・ 研修医プレローテーション（1回） ・ 新人看護師研修「毒薬・劇薬・向精神薬・麻薬の取り扱いについて」（1回）	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成（☒有・無） ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： ・ 医薬品の採用・購入に関する事項 ・ 医薬品の管理に関する事項（麻薬等の管理方法等） ・ 患者の持参薬歴情報等の収集方法、処方せんの記載方法 ・ 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 ・ 医薬品の安全使用に係る情報の取り扱いに関する事項 ・ 他施設（病院等、薬局等）との連携に関する事項	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備（☒有・無） ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： ・ その他の改善のための方策の主な内容： （情報収集の方法 ※未承認等の医薬品の情報その他の情報の収集） ・ 医療安全管理部および医薬安全に係る委員会と連携し、院内で発生するインシデント等の情報収集 ・ 病院で発生する副作用・感染症情報の把握 ・ 厚生労働省、医薬品医療機器総合機構、製薬企業からの情報提供（口頭、インターネット、書面等） （情報の周知方法） ・ 緊急性、重要性、対象により、以下の方法等による周知を図る ・ 新採用者または全職員を対象に開催する研修会 ・ 書面や医療情報システム掲示板・院内メールを利用した情報提供 ・ 医師等の個人に直接情報提供 ・ 病棟担当薬剤師による医師薬剤師への説明会	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年141回
・ 研修の主な内容： 輸血ポンプ・シリンジポンプ（2回） PICC管理研修会（4回） 血液透析療法研修会（1回） 人工呼吸非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）（1回） 人工呼吸器研修会（1回） チェスト・ドレーン・バック研修会（2回） 気管切開研修会（1回） 中心静脈挿入のための安全管理研修会（1回） ・ 保育器・人工心肺装置・除細動器・血液浄化装置・その他（128回）	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定（☒有・無） ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： ・ MEセンターで直接管理している医療機器については、点検の対象機器及び方法を定めセンターでの定期点検、現場定期点検、使用前点検、使用中点検、使用后点検に区別して点検記録簿を作成し管理保管している。 ・ 現場管理が主体となる放射線装置については、部署の担当責任者が管理し、MEセンターはそれらの医療機器の定期点検表、修理点検表等の写しを提出してもらい、一括管理保管する。 ・ 保守・修理・点検にあたっては、計画の作成に参画し、業者との窓口としての業務を行っている。院内で定期点検する場合は、メーカーの技術講習会を受けたMEが実施、点検項目や頻度はメーカー推奨を参考に作成している。 ・ 精度、機能、安全機構、ソフトのバージョン等メーカー技術講習に準じて実施。オーバーホールも含む。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備（☒有・無） ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： ・ その他の改善のための方策の主な内容： （情報収集の方法） ・ 医療機器の添付文書、取扱説明書の安全使用・保守点検に関する文書整理し管理する。また、院内で発生する医療機器に関する不都合情報はMEセンターに報告してもらい、製造販売会社から適切な対処方法に関して情報提供を求めている。 （情報の周知方法） ・ 医療安全管理部、リスクマネジメント専門委員会と協議協力して、院内に周知する。 ・ 医療機器の不都合情報・安全情報等は、当該医療機器に直接携わる関係者には口頭、文書で通知し、院内には「MEセンター瓦版」、「リスクマネジメント便り」、あるいは医療情報システムを利用して情報提供を行う。さらに、研修会実施時に情報提供を行い、周知を図っている。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	☒ 有・無								
・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 副病院長（医療安全）を配置している。 （職務内容） 医療安全管理部、医療事故防止等対策委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者、インフォームド・コンセント説明等責任者の統括をしている。									
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	☒ 有（1名）・無								
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 医療安全管理部や医療安全に係る委員会等と連携の下、次の業務を行う。 1. 医薬品の安全のための業務に関する手順書の作成並びに改定 2. 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施 3. 医薬品の業務手順書に基づく業務の実施 4. 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全確保を目的とした改善のための方策の実施 ・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 未承認医薬品の使用状況は医薬品情報管理室にて一元管理を行い、定期的に（月一回程度）その結果を報告させ、必要な介入の指示を行い、実施させる。 ・担当者の指名の有無（☒有・無） ・担当者の所属・職種： <table border="0"> <tr> <td>（所属：薬剤部，職種 薬剤師）</td> <td>（所属：，職種）</td> </tr> <tr> <td>（所属：，職種）</td> <td>（所属：，職種）</td> </tr> <tr> <td>（所属：，職種）</td> <td>（所属：，職種）</td> </tr> <tr> <td>（所属：，職種）</td> <td>（所属：，職種）</td> </tr> </table>		（所属：薬剤部，職種 薬剤師）	（所属：，職種）	（所属：，職種）	（所属：，職種）	（所属：，職種）	（所属：，職種）	（所属：，職種）	（所属：，職種）
（所属：薬剤部，職種 薬剤師）	（所属：，職種）								
（所属：，職種）	（所属：，職種）								
（所属：，職種）	（所属：，職種）								
（所属：，職種）	（所属：，職種）								
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	☒ 有・無								
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する									

る規程の作成の有無 (☒ 有 ・ 無)

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：

- ・説明等の実施に必要な方法に関して、インフォームド・コンセントマニュアル等に定められた事項の遵守状況を定期的に確認している。
- ・説明方法、内容、文書管理等についての検討事項は、適宜インフォームド・コンセント専門委員会でルール化している。
- ・不適切な事例が認められる場合は、当該部署へ指導を行うとともに、必要に応じて院内文書（インフォームド・コンセント便り等）により病院全体へ周知している。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

☒ 有 ・ 無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

診療録管理委員会内に診療録監査専門部会を設置し、診療録等の記載内容、退院サマリーの作成状況、カウンターサインの実施状況等を毎月確認している。内容の記載不備、未作成又は未実施など不備がある場合は、担当医師に直接指導を行っている。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

☒ 有 ・ 無

- ・所属職員：専従（２）名、専任（２）名、兼任（１０）名
うち医師：専従（ ）名、専任（２）名、兼任（６）名
うち薬剤師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（２）名
うち看護師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（２）名 ※事務 専任（１）名、兼任（１）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

- ・活動の主な内容：
- ・医療安全に関わる委員会の運営並びにその記録、資料等の作成及び保存に関すること
- ・医療安全に係る教育・研修の企画・立案・運営・学習効果測定の実施に関すること
- ・医療事故及びこれに準じて取り扱うことが必要な事象（以下「医療事故等」という。）が発生した場合における診療録や看護記録等への記載が、正確かつ十分になされていることの確認及び

必要な指導に関すること

- ・ 医療事故等が発生した場合における患者又はその家族への説明などの対応状況についての確認及び指導に関すること
- ・ 医療事故等の発生原因の究明等対応状況が適切に実施されていることの確認及び当該確認結果に基づく医療従事者への必要な指導に関すること
- ・ 医療安全に資する診療内容及び医療従事者の医療安全の認識についてのモニタリングに関すること（診療録管理委員会にて監査を実施）
- ・ 死亡例及び合併症の報告等に関すること
- ・ 医療安全に係る内部通報に関すること
- ・ 医薬品及び医療機器の安全管理に係る助言指導に関すること
- ・ インフォームド・コンセント及び診療録の管理の適切な実施に係る助言指導に関すること
- ・ 医療安全に係る外部監査に関すること
- ・ 特定機能病院間相互のピアレビューの実施に関すること
- ・ 医療安全管理に係る連絡調整に関すること
- ・ 高難度新規医療技術等を用いた医療の提供に関すること
- ・ 未承認新規医薬品・医療機器の使用に関すること
- ・ その他本院における医療安全の確保のための対策の推進に関すること

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（１１件）、及び許可件数（１０件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（☒有・無）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（☒有・無）
- ・ 活動の主な内容：
 - ・ 高難度新規医療技術等に該当するか否かの判断に関すること
 - ・ 高難度新規医療技術等を用いた医療の提供申請の適否等の決定及び結果通知に関すること
 - ・ 関係する委員会等との調整に関すること
 - ・ 提供を認めた高難度新規医療技術等の周知及び関係者への指導に関すること

- ・ 病院長が定めた手順書の遵守状況の確認に関すること
- ・ 患者申出療養の実施の可否に関すること
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（３０件）、及び許可件数（２８件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：
 - ・ 未承認新規医薬品・医療機器に該当するか否かの判断に関すること
 - ・ 未承認新規医薬品・医療機器の使用申請の適否等の決定及び結果通知に関すること
 - ・ 関係する委員会等との調整に関すること
 - ・ 使用を認めた未承認新規医薬品・医療機器の周知及び関係者の指導に関すること
 - ・ 病院長が定めた手順書の遵守状況の確認に関すること
 - ・ 患者申出療養の実施の可否に関すること
 - ・ その他必要と認められる業務
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年５５１件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年１７８件（１５３件：実質）
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

医療安全管理部が、入院患者の死亡事例を確認し、その中で異状死、問題のある症例、診療科から報告のあった死亡事例については、さらに詳しく検証を行っている。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（☒有（病院名：山梨大学医学部附属病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（☒有（病院名：信州大学医学部附属病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況
 - ・院内死亡事例のより速やかな把握が必要との指摘があり、死亡事例検索が可能なシステムを構築し、死亡事例の把握を行っている。
 - ・高難度新規医療技術について、IC 様式と報告書様式の改善が必要との指摘があり、IC 様式に設備・体制、術者の専門資格・これまでの経験等の項目を追加し、運用している。報告様式については、合併症発生の有無等の必要な項目を追加修正した。
 - ・議事録に、術者の妥当性評価の記入が必要との指摘があり、記載を改めた。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

（設置状況等）

平成15年4月1日に、本院に医療相談室を設置し、現在、医療相談室長（医師）1名、医事課の事務職員15名の相談員が医療安全管理部（医療安全管理者）と協力して、平日8：30から17：00（土日祝日除く）の間、患者等からの相談等に応じている。

（活動状況等）

医療相談室の相談員が、患者等からの安全管理を含めた医療に関する相談や苦情などに適切に対応している。

対応にあたっては、患者等の秘密の厳守及び患者が不利益を受けないよう適切な措置を講じながら適切かつ迅速に問題を解決するよう努めている。

また、必要に応じて、医師、看護師等と協力して対応にあたり、途中経過及び結果を病院長に報告している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

職員の医療の安全に関する意識、職員間の相互に連携して業務を行なうことについての認識、業務を安全に行なうための技能向上等を目的とした研修は、医療安全研修会、医療機器研修会等を実施している。

現在は、研修後、アンケートにより理解度の測定を実施しているが、今後、より研修の効果を確認できる方法を検討することとしている。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理者及び医療機器安全管理責任者を「特定機能病院管理者研修」、医薬品安全管理責任者を毎年「日本病院薬剤師会医薬品安全管理責任者等講習会」や「特定機能病院管理者研修」に参加させるなどの措置を講じている。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

- ・ 基準の主な内容

医師免許を有している者

鳥取大学医学部附属病院の主任診療科長、診療科長又は診療施設の長に併任されているもの。

医療安全確保のために必要な資質及び能力を有している者

- ① 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務
- ② 医療事故防止等対策委員会の構成員としての業務
- ③ 医療安全管理部における業務
- ④ その他上記に準ずる業務

組織管理能力等の医学部附属病院を管理運営する上で必要な資質及び能力を有している者

- ① 病院長又は副病院長の経験
- ② 診療科長又は診療施設等の長の3年以上の経験

教育・研究・診療に必要な資質及び能力を有している者

大学の医学系教授の経験があり、学識に優れ、医学教育、医学研究及び高度医療を担うことができる能力を有している者

- ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）

- ・ 公表の方法

鳥取大学HP

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				有・無
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 鳥取大学HP				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
松田 成史	理事・副学長・事務局長	○	病院長選考会議規則に定める学長が指名する理事	有・無
廣岡 保明	医学部長		病院長選考会議規則に定める役職指定	有・無
山本 一博	副病院長		病院長選考会議規則に定める学長が指名する副病院長	有・無
中村 真由美	副病院長・看護部長		病院長選考会議規則に定める役職指定	有・無
武中 篤	副病院長		病院長選考会議規則に定める病院から選出された教職員	有・無
宮田 幸宏	米子地区事務部長		病院長選考会議規則に定める病院から選出された教職員	有・無
藤井 秀樹	鳥取県福祉保健部長		病院長選考会議規則に定める学長が委嘱する学外の有識者（鳥取県の医療に係る担当責任者として、保健・医療・福祉全般に豊富な知見を有している。）	有・無
根津 勝	鳥取県西部医師会長		病院長選考会議規則に定める学長が委嘱する学外の有識者（鳥取県西部医師会の責任者として、医学・医術の発達と公衆衛生の向上に寄与し、地域の保健・医療・福祉の連携に高い見識を有している。）	有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		☒ 有・無	
・合議体の主要な審議内容 管理運営上の諸種の事項の調査審議し、これらに関し必要な事項を建議する。 ・審議の概要の従業者への周知状況 医学部附属病院ホームページにより公表 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒有・無 ） ・公表の方法 鳥取大学ホームページにより公表 ・外部有識者からの意見聴取の有無（ 有・☒無 ）			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職

役職指定で構成員が決まっているため名簿の作成はおこなっていない。

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 公表の方法

鳥取大学ホームページにより公表

- ・ 規程の主な内容

病院経営・企画の専門的事項に関する業務

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

副病院長（総務）評価監査・人事労務・教育・キャリアアップ支援・特定行為等、副病院長（経営・広報）経営・広報・先進医療・臨床試験・国際交流等、副病院長（医療安全）診療録・災害対策・個人情報保護、副病院長（医療の質管理）患者サービス等、病院長特別補佐（業務改善）病院業務改善等、病院長特別補佐（地域連携）地域包括ケアシステム、病院機能分化、病院長特別補佐（ワークライフバランス）ワークライフバランス等、病院長特別補佐（患者サービス）メディエーター、地域医療等

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

国立大学附属病院長会議等が企画する「病院長塾」「病院経営次世代リーダー養成塾」への参加

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況					☒ 有・無	
・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 ・ 活動の主な内容： ・ 病院の医療安全に係る業務執行の状況に対する監査 ・ 病院の医療安全に係る管理状況及び改善状況に関する審議 ・ 監査及び審議結果の学長及び病院長への報告 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 委員名簿の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 委員の選定理由の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ 有・☒無 ） ・ 公表の方法： 病院のホームページ及び大学のホームページにて公表						
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）						
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況	
中岡 明久	独立行政法人 労働者健康安全 機構山陰労災病 院副院長・医療 安全管理部長	○	医療に係る安全管 理に関する識見を 有する者として適 任であるため。	有・ ☒ 無	1	
中村 寿夫	中村法律事務所 弁護士		法律に関する識見 を有する者として 適任であるため。	有・ ☒ 無	1	
前田 純子	NPO法人岡山SP 研究会代表		医療を受ける者 で、かつ医療従事 者以外であり、医 療安全管理につい ての知識を有する 者として適任であ るため。	有・ ☒ 無	2	

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容
経営協議会を設置し、外部委員を含めた構成員により年数回開催している。
- ・ 専門部署の設置の有無 (☒ 有 ・ 無)
- ・ 内部規程の整備の有無 (☒ 有 ・ 無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (☒ 有 ・ 無)
- ・ 公表の方法
鳥取大学ホームページにより公表

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 経営協議会を設置し、外部委員を含めた構成員により開催している。 ・ 会議体の実施状況（ 年8回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ☒有・無 ）（ 年6回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 公表の方法 鳥取大学ホームページにより公表			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：経営協議会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
中島 廣光	学長	○	☒ 有・無
田村 文男	理事・副学長		☒ 有・無
河田 康志	理事・副学長		☒ 有・無
細井 由彦	理事・副学長		☒ 有・無
松田 成史	理事・副学長・事務局長		☒ 有・無
藪田 千登世	理事・副学長		☒ 有・無
原田 省	医学部附属病院長・副学長		☒ 有・無
江崎 信芳	公立大学法人公立環境大学学長		有・ ☒ 無
熊埜御堂 朋子	NHK 鳥取放送局 局長		有・ ☒ 無
林田 英樹	元文化庁長官		有・ ☒ 無
平井 伸治	鳥取県知事		有・ ☒ 無
松本 典子	学校法人藤田学院鳥取短期大学 学長		有・ ☒ 無
宮崎 正彦	(株)鳥取銀行 代表取締役会長		有・ ☒ 無
吉岡 秀樹	(株)新日本海新聞社 取締役		有・ ☒ 無
渡辺 憲	公益財団法人鳥取県医師会会長		有・ ☒ 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の
情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
・ 通報件数（年 0 件）
・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための 方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
・ 周知の方法
ホームページで公表

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 評価を行った機関名 : 公益財団法人 日本医療機能評価機構 評価を受けた時期 : 2015年1月5日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 本院の最新医療情報および地域からニーズのある情報、そして旬な話題を発信している。 ・ ホームページ：随時更新 ・ 広報誌「とりだい病院ニュース」：3回発行 ・ 医療情報誌「ささら」：1回発行 ・ 外来担当医のご紹介：1回発行 ・ 新聞特集：3回掲載 ・ ケーブルテレビ：毎月放送 ・ 院内セミナー（健康ミニ講座）：22回開催 ・ 院外セミナー（メディカルセミナー）：2回開催 ・ 公式SNS(face book, twitter)：12月より導入	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 本院では、低侵襲外科センターにおいて、外科系各診療科の壁を越えて疾患に対応することはもとより、低侵襲手術の技術向上と教育を行っている、 また、脳とこころの医療センターにおいて、複数科にまたがる、あるいは複数科でみるべき疾患に対応しているほか、 ・ 褥瘡対策チーム、・ 緩和ケアチーム、・ 糖尿病医療支援チーム、・ 栄養サポートチーム、 ・ 感染対策チーム、・ 転倒・転落予防チーム、・ 生殖医療チーム、・ 呼吸サポートチーム など、複数診療科が連携し組織横断的に対応を行う体制を整備している。	

(様式第 8)

鳥大医事第 16-1 号
令和元年 10 月 5 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人鳥取大学
学 長 中 島 廣 洋

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

公益財団法人日本医療機能評価機構が実施している「特定機能病院管理者研修」を下記の日程で受講する予定としている。

- ・管理者：令和 2 年 2 月 12 日
- ・医療安全管理責任者：令和元年 12 月 16 日
- ・医薬品安全管理責任者：令和元年 12 月 16 日
- ・医療機器安全管理責任者：令和 2 年 2 月 12 日

2. 医療安全管理部門の人員体制

- ・所属職員：専従（2）名、専任（2）名、兼任（10）名
- うち医師：専従（ ）名、専任（2）名、兼任（6）名
- うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（2）名
- うち看護師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（2）名
- ※事務 専任（1）名、兼任（1）名

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

専従医師の配置に努めているところではあるが、現在は経過措置として、医療安全管理部門に専任職員 2 名を配置するにとどまっている。

今後も引き続き、専従医師の配置に努め、平成 32 年 3 月までに配置する予定としている。